

決算説明会資料

株式会社山口フィナンシャルグループ

平成24年度決算の概要と グループ戦略について

平成25年6月3日

目次

1. 業績概要

平成24年度決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行・北九州銀行の平成24年度決算概要	2
もみじ銀行の平成24年度決算概要	3
預貸金の状況	4
期中平均利回りの推移	5
有価証券残高・評価損益の状況	6
役務収益の推移	7
信用コストと不良債権の状況	8
自己資本比率の状況と資本政策	9
経費の推移と見通し	10
平成26年3月期の業績予想	11
配当実績・計画	12

2. グループ戦略

第2次中期経営計画(平成22年度～平成24年度)の総括	13
YMFG中期経営計画2013 ①計画の概要	14
YMFG中期経営計画2013 ②目指すべき姿	15
YMFG中期経営計画2013 ③計数計画	16
一つになって「地域」へ～地域と深く関わる体制の強化	17
一つの「YMFG」として～「YMFG」のブランディング活動	18
地域の活力を創造する	
～ブランド活用を通じた地域への深化	19
～ネットワークを活かした連携による地域活性化	20
～アジアの成長の取込①	21
～アジアの成長の取込②	22
YMFGのファンを増やす	23
株価推移	24

3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	25
業績推移(2)各行単体	26
貸出金推移(末残)	27
預金推移(末残)	28
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	29
利回り・利鞘推移	30
債務者区分の遷移状況(H24年3月末⇒H25年3月末)	31
債務者区分の遷移状況(H24年9月末⇒H25年3月末)	32
リスク資本配賦	33
地区別経済概況(山口県)	34
地区別経済概況(広島県)	35
地区別経済概況(北九州)	36
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	37
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	38

1.業績概要

平成24年度決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比42億円増加。
- ◆加えて、国債等債券損益の増加等により、当期純利益は前年同期比93億円増加し272億円を計上。

(億円)

	YMFG連結		3行合算			
		前年同期比		前年同期比	山口+北九州	もみじ
コア業務粗利益	1,185	15	1,128	8	△ 31	39
資金利益	941	△ 62	945	△ 62	△ 32	△ 30
役務取引等利益	148	4	104	1	2	△ 1
その他業務利益	79	69	78	67	△ 3	70
経費(△) (除く臨時処理分)	865	△ 26	786	△ 23	△ 3	△ 20
人件費(△)	-	-	359	△ 9	△ 2	△ 7
物件費(△)	-	-	389	△ 6	△ 0	△ 5
コア業務純益	319	42	341	32	△ 27	59
経常利益	438	74	457	63	6	57
当期純利益	272	93	304	89	38	50
与信費用	2	△ 1	1	△ 2	△ 27	25

資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	25/3期	前年同期比
資金利益	945	△ 62
資金運用収益	1,032	△ 76
貸出金利息	844	△ 56
有価証券利息	170	△ 19
資金調達費用	87	△ 14
預金NCD利息	40	△ 2
その他	0	△ 0

貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、その他業務利益が前年同期比70億円増加。

連単差

3行合算当期純利益	304億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 49億円
FG連結調整等	18億円
子銀行連結調整	△ 2億円
YMFG連結純利益	272億円

※単位未満は切捨て表示、3行合算については3行単体の単純合算数値

山口銀行・北九州銀行の平成24年度決算概要

- ◆利鞘の縮小による資金利益の減少を主因に、コア業務純益は前年同期比27億円減少。
- ◆国債等債券損益増加や与信費用改善、法人税減少等により、当期純利益は前年同期比38億円増加。

(億円)

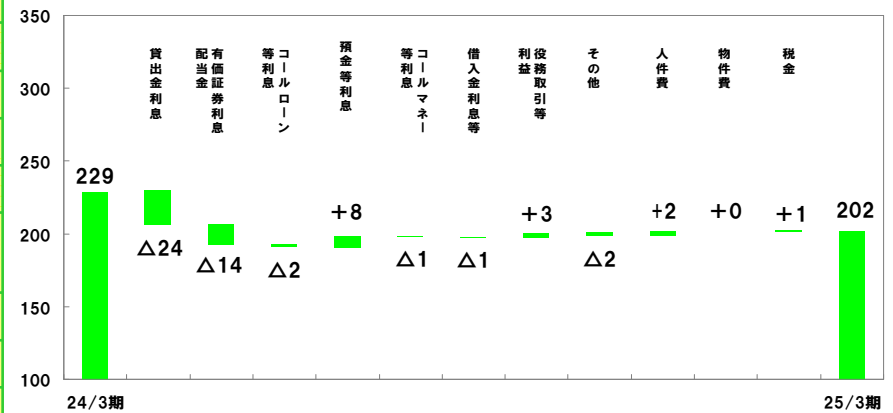
	山口+北九州		山口銀行 25/3期	北九州銀行 25/3期
	25/3期	前年同期比		
経常収益	927	△ 35	818	127
業務粗利益	775	△ 1	666	108
資金利益	610	△ 32	511	99
役務取引等利益	72	2	65	7
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	91 (87)	25 (29)	90 (87)	1 (△ 0)
経費(除く臨時処理分)(△)	485	△ 3	395	89
うち人件費(△)	217	△ 2	176	41
うち物件費(△)	244	△ 0	201	43
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 46	△ 23	-	-
業務純益	336	25	271	18
コア業務純益	202	△ 27	184	18
臨時損益	△ 49	△ 19	△ 5	2
うち不良債権処理額(△)	30	△ 4	1	0
うち株式等関係損益	△ 17	△ 19	△ 17	0
経常利益	286	6	265	20
特別損益	△ 2	2	△ 0	△ 1
税引前当期純利益	284	8	265	19
当期純利益	179	38	167	12
与信関係費用	△ 16	△ 27	△ 14	△ 1

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益

202億円(前年同期比 △27億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益 (億円)



有価証券関係損益

70億円(前年同期比 +9億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
国債等債券損益	87	29
売却損益	91	25
償還損益	△ 4	4
株式等損益	△ 17	△ 19
売却損益	5	△ 11
償却額(減損処理)	△ 22	△ 8

与信関係費用

△16億円(前年同期比 △27億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 46	△ 23
個別貸倒引当金繰入額	28	△ 4

もみじ銀行の平成24年度決算概要

- ◆貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比59億円増加。
- ◆経常利益増加に対し法人税等は前期比微増に止まったため、当期純利益は前年同期比50億円増加。

(億円)

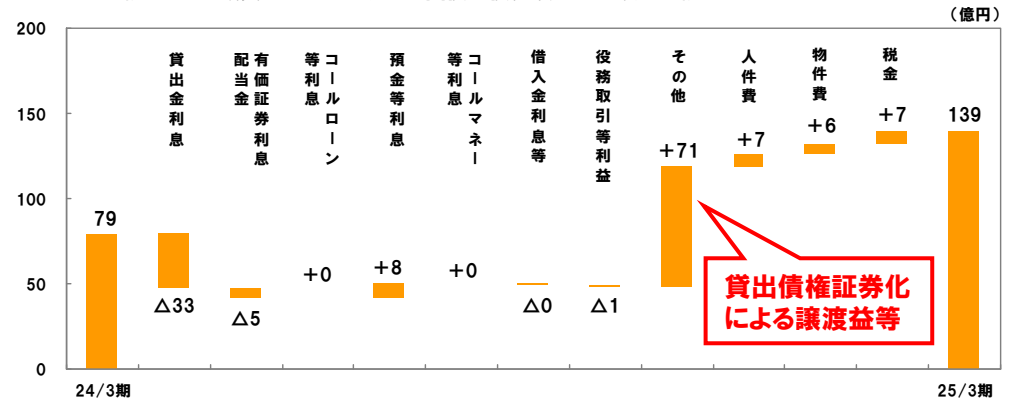
	25/3期	前年同期比
経常収益	585	45
業務粗利益	509	56
資金利益	334	△ 30
役務取引等利益	32	△ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	142 (67)	88 (17)
経費(除く臨時処理分)(△)	301	△ 20
うち人件費(△)	141	△ 7
うち物件費(△)	144	△ 5
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 20	△ 20
業務純益	227	96
コア業務純益	139	59
臨時損益	△ 56	△ 38
うち不良債権処理額(△)	38	35
うち株式等関係損益	△ 13	△ 3
経常利益	170	57
特別損益	△ 0	△ 5
税引前当期純利益	170	52
当期純利益	125	50
与信関係費用	18	25

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益

139億円(前年同期比 +59億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益

53億円(前年同期比 +13億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
国債等債券損益	67	17
売却損益	70	19
償還損益	△ 2	△ 2
株式等損益	△ 13	△ 3
売却損益	△ 3	△ 2
償却額(減損処理)	△ 10	0

与信関係費用

18億円(前年同期比 +25億円)

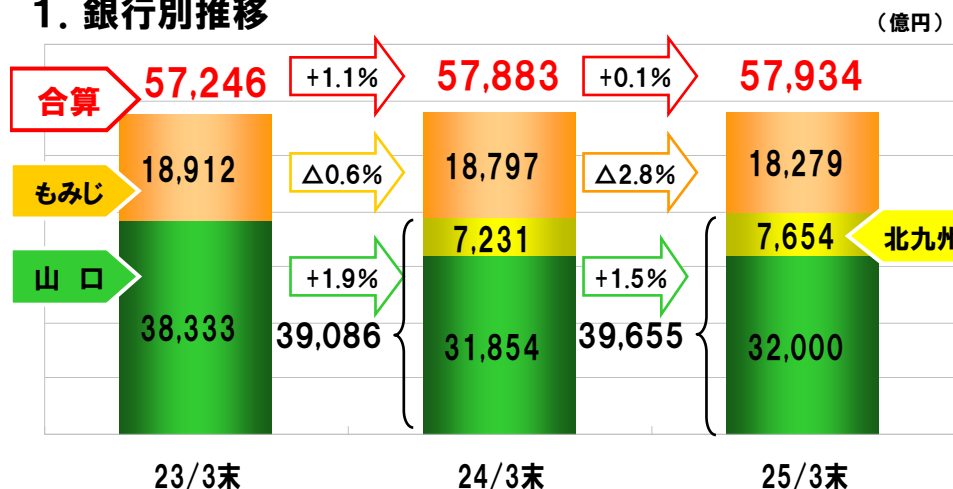
(億円)	25/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 20	25
個別貸倒引当金繰入額	35	0

預貸金の状況

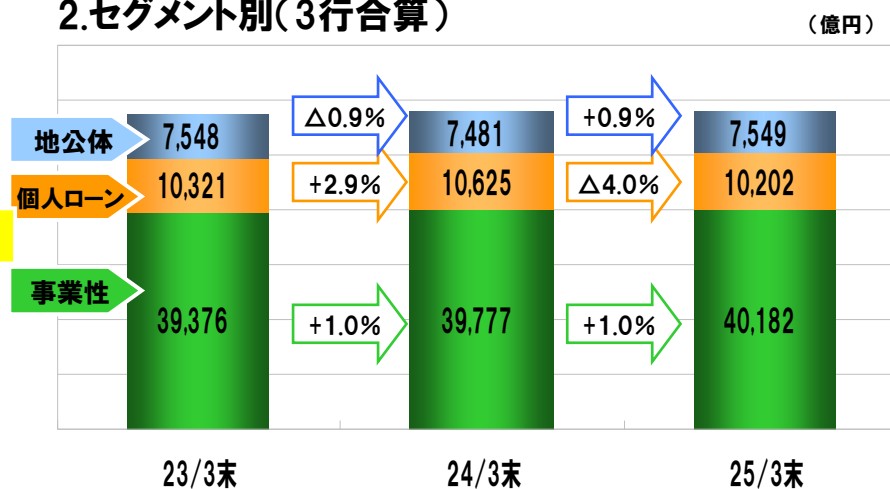
- ◆貸出金：住宅ローン債権の証券化を主因にもみじ銀行の残高は減少したが、3行合算では前期比微増。
- ◆預金：個人預金が前年同期比1,656億円増加するなど、総預金残高は前年同期比1,394億円増加。

貸出金

1. 銀行別推移

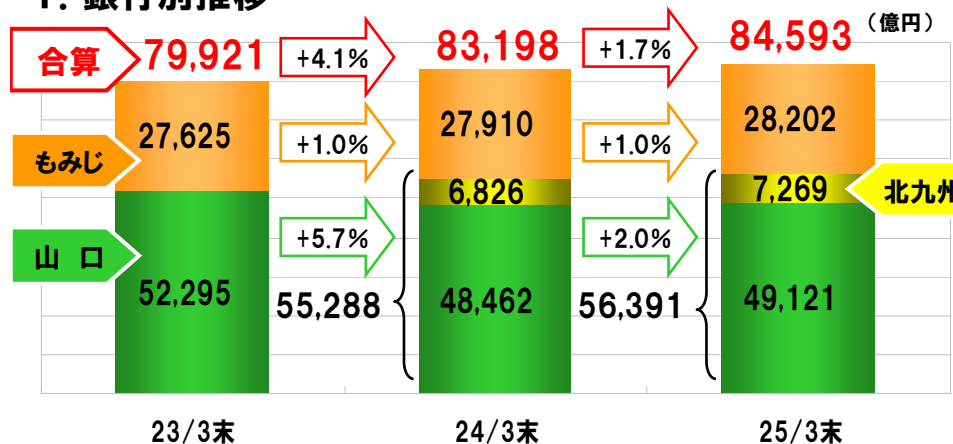


2. セグメント別(3行合算)

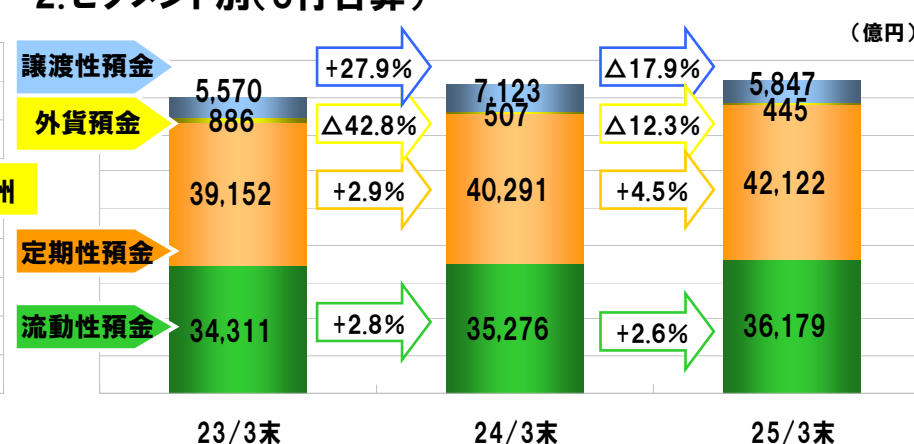


預金

1. 銀行別推移



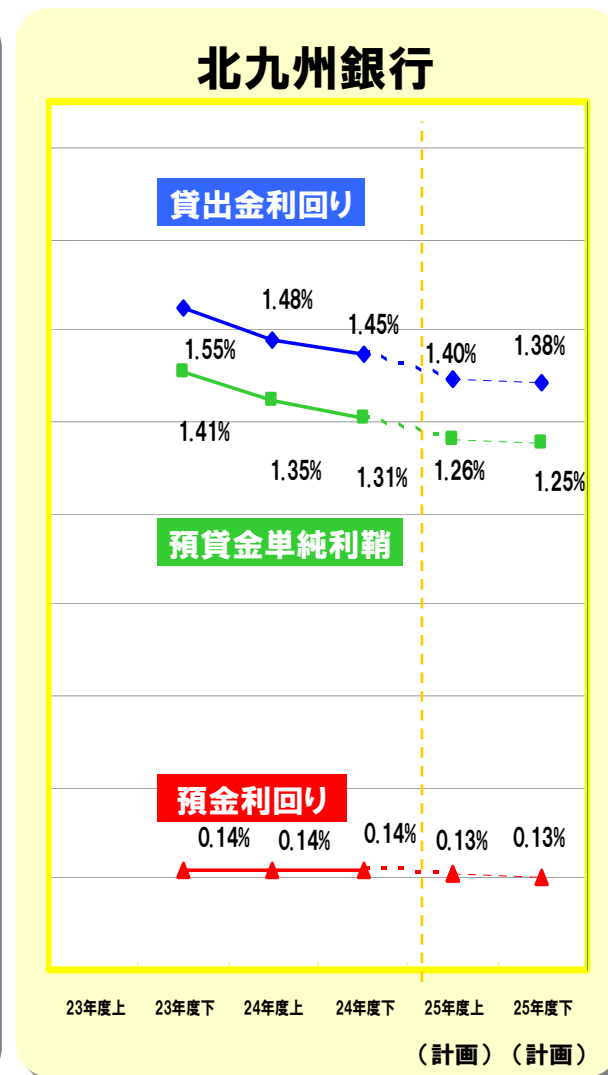
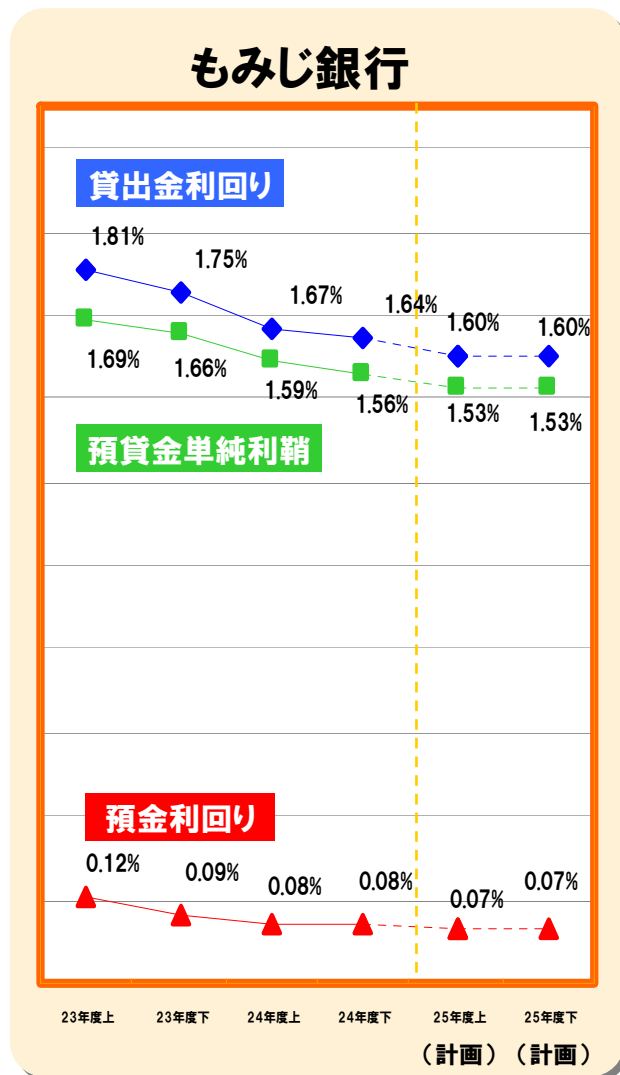
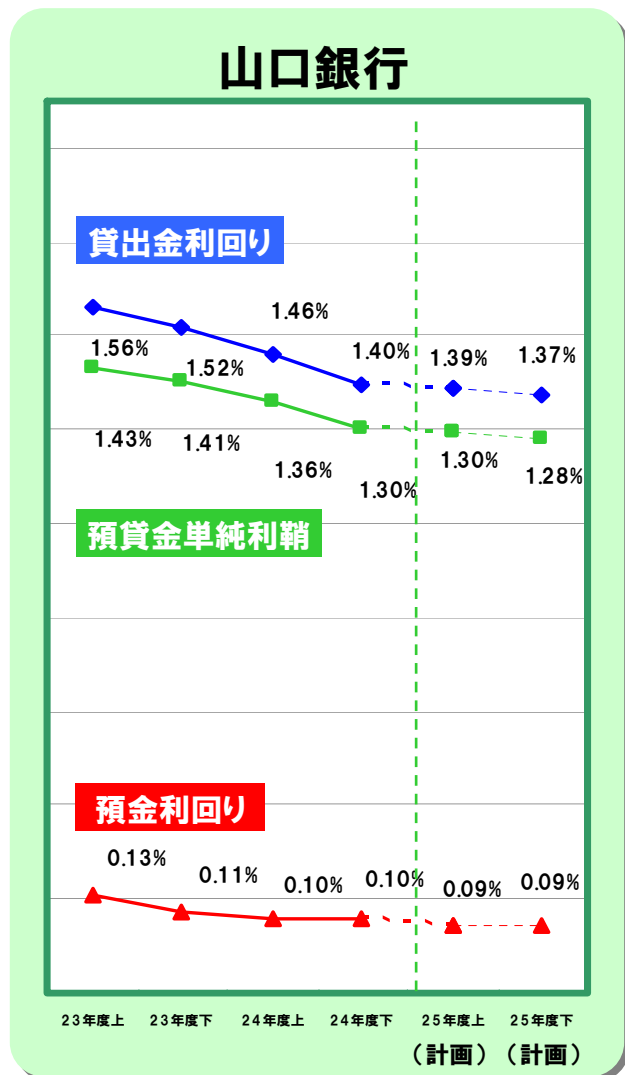
2. セグメント別(3行合算)



※記載計数は国内店勘定です。

期中平均利回りの推移

- ◆貸出金利回りについては、低金利環境の継続により、貸出金利の低下が見込まれる。
- ◆お客様の潜在的ニーズにお応えし新たな付加価値を提供していくことで、貸出金利の維持・向上を図る。



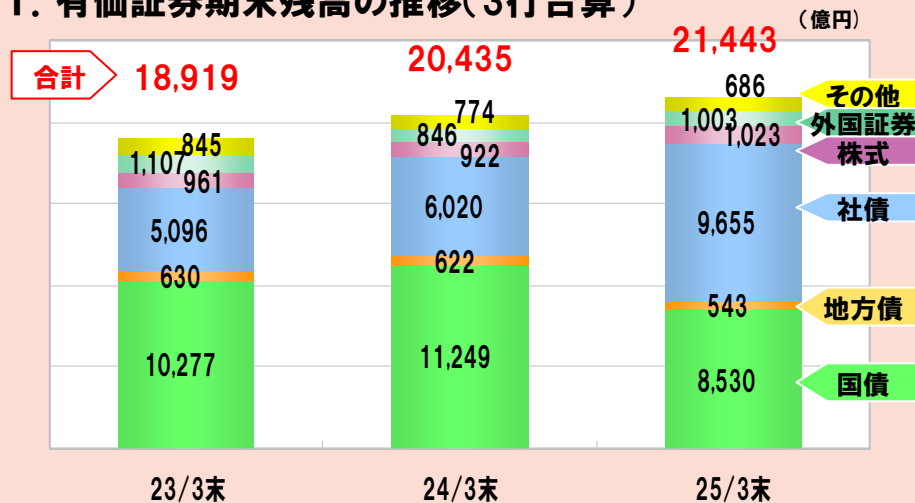
※山口銀行の23年度上半期実績は北九州銀行と合算。

※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を四捨五入で表示。

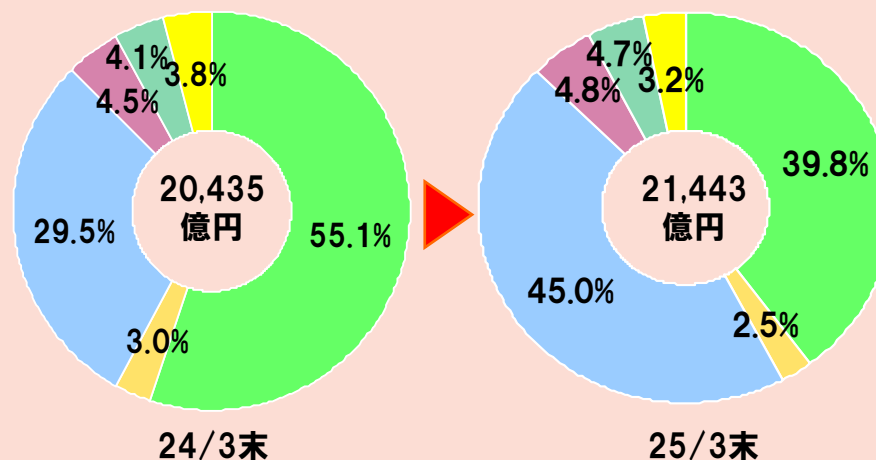
有価証券残高・評価損益の状況

- ◆政府保証債を中心とする社債を大幅に増加させ、有価証券期末残高は前期末比1,008億円増加。
- ◆株価の上昇等により、有価証券の評価益は前期比382億円増加。デュレーションは、若干長期化。

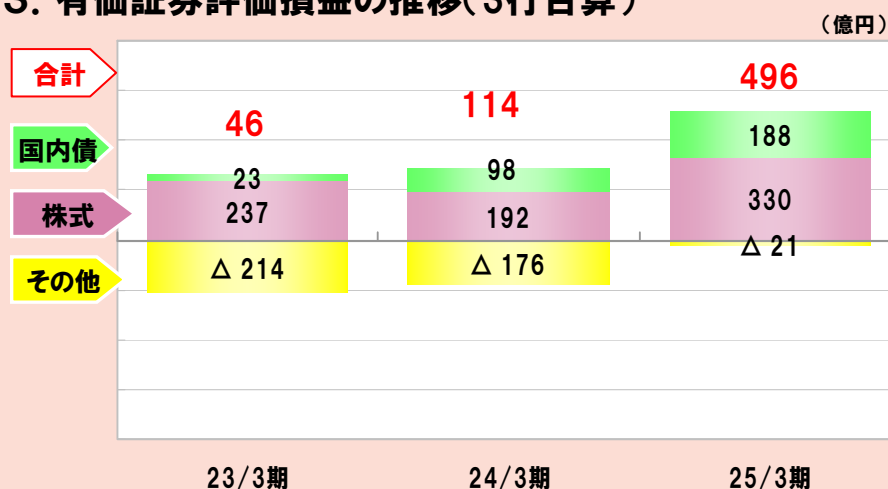
1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



2. 有価証券構成比(3行合算)



3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



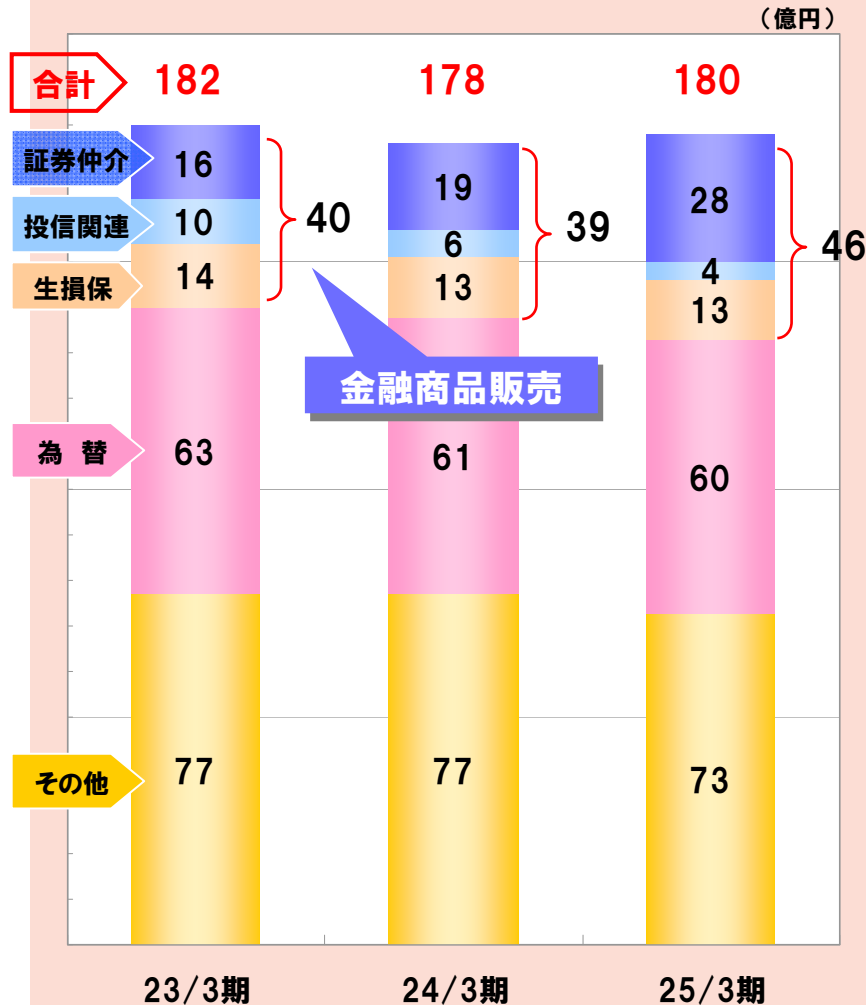
4. 保有債券のデュレーション

	24/3期	25/3期	前年同期比
山口銀行			
国内債	4.47	4.57	+ 0.10
外国証券	2.77	4.03	+ 1.26
もみじ銀行			
国内債	4.50	5.06	+ 0.56
外国証券	3.33	3.92	+ 0.59
北九州銀行			
国内債	5.04	4.83	△ 0.21
外国証券	-	-	-

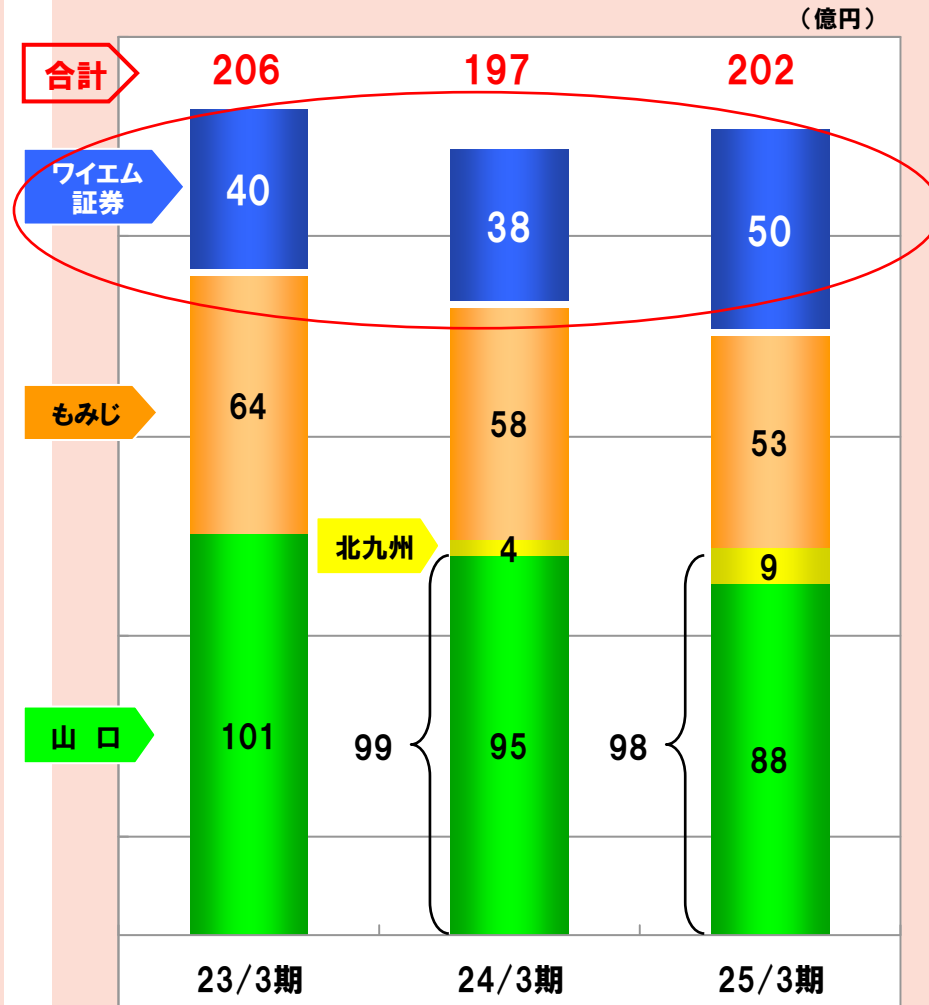
役務収益の推移

- ◆グループ会社であるワイエム証券向けの仲介手数料を中心に、金融商品販売関連の収益が順調に増加。
- ◆銀証連携強化によりワイエム証券の役務収益が伸長し、グループ合算の役務収益は**前期比5億円増加**。

1. 商品別(3行合算)



2. グループ企業別(ワイエム証券を含む)



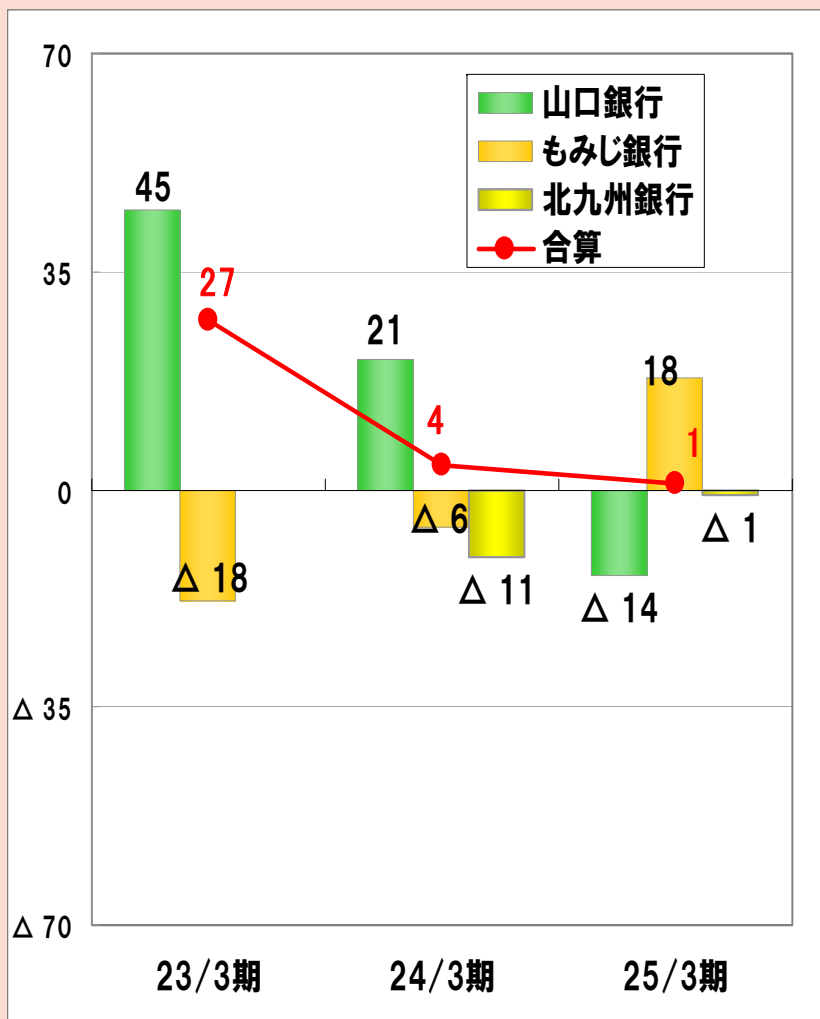
※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、もみじ銀行で増加したが山口銀行の減少が大きく、3行合算では前期比3億円減少。
- ◆不良債権残高は、危険債権が減少したものの要管理債権が増加し、合計は前年同期と比べ横這い。

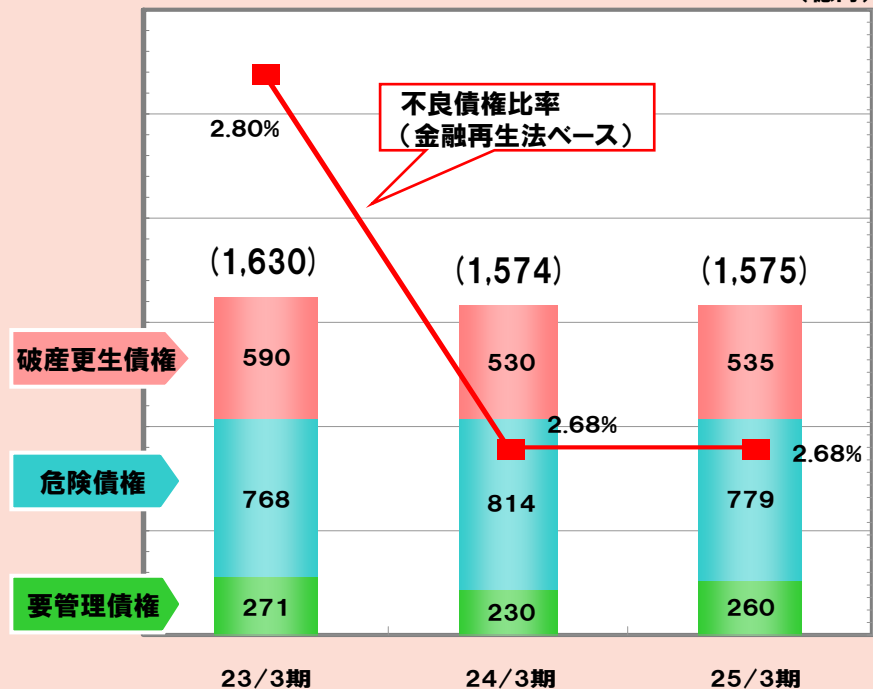
1. 与信費用(3行合算)

(億円)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



[業種別リスク管理債権](3行合算)

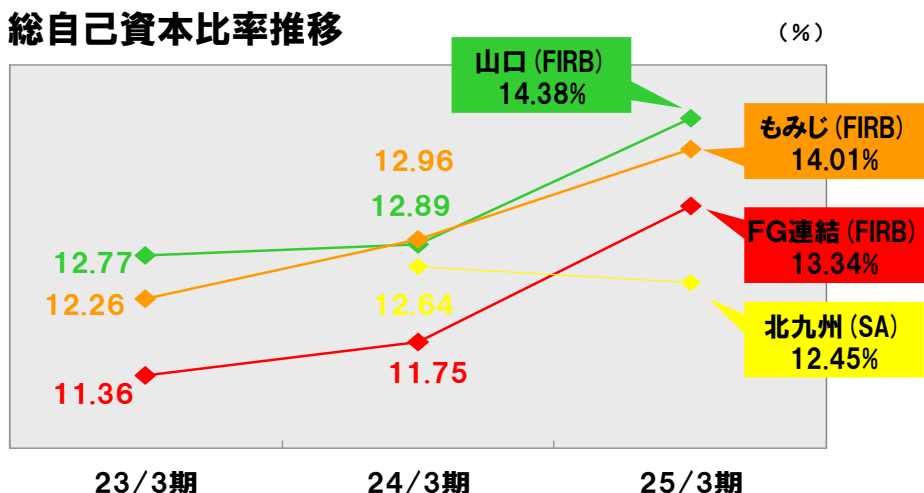
(億円)

	24/3期	25/3期	増減
開示債権合計	1,566	1,565	△0
製造業	245	247	1
建設業	220	207	△13
卸売・小売業	349	273	△75
不動産業	220	192	△28
各種サービス業	280	312	32
その他	249	332	82

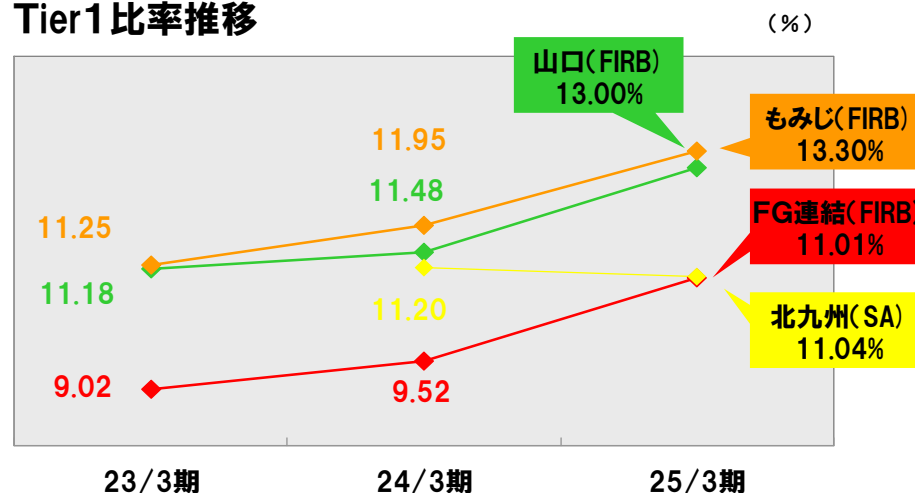
自己資本比率の状況と資本政策

- ◆利益の積上げや基礎的内部格付手法を採用したこと等により、自己資本比率は前年同期比上昇。
- ◆25年4月に優先株式全額を取得・消却し発行済株式は普通株式のみとなり、資本の質は改善。

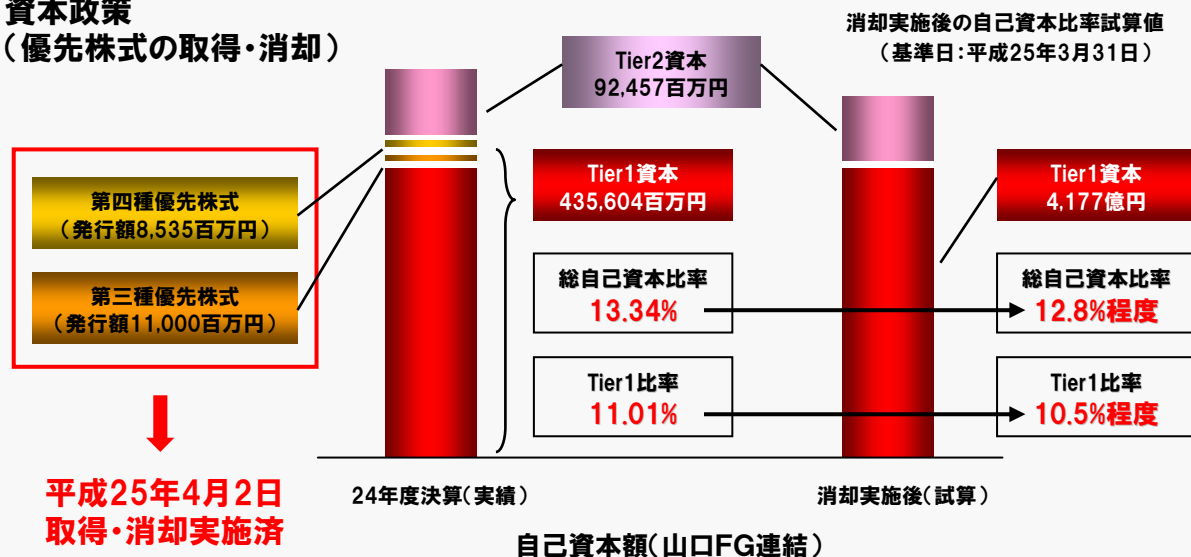
総自己資本比率推移



Tier1比率推移



資本政策 (優先株式の取得・消却)



資本の質の改善と健全性の維持

- ◆第三種・第四種優先株式195億円全額を取得し消却実施(25年4月)
- ◆これにより優先株式残高は0となり、発行済株式は**普通株式のみ**
- ◆消却実施後の試算で、総自己資本比率12.8%程度、Tier1比率10.5%程度と、バーゼル3における最低所要水準を**十分に上回る水準**を維持

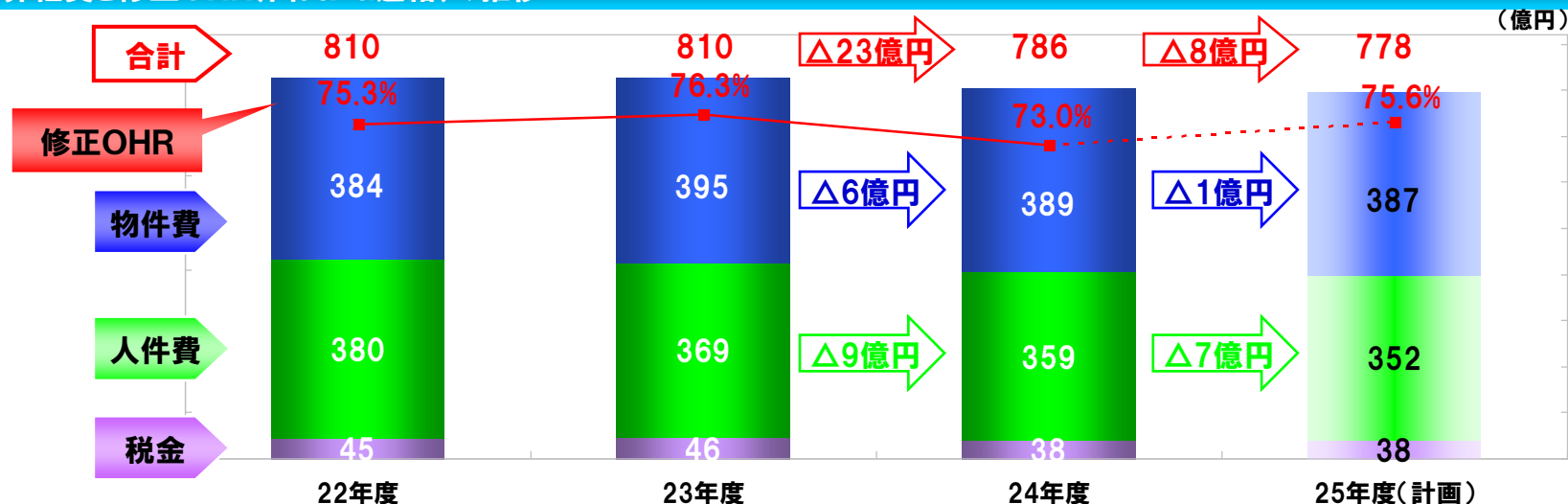
資本調達コストの削減

- ◆年間約5億円の資本調達コスト削減となる

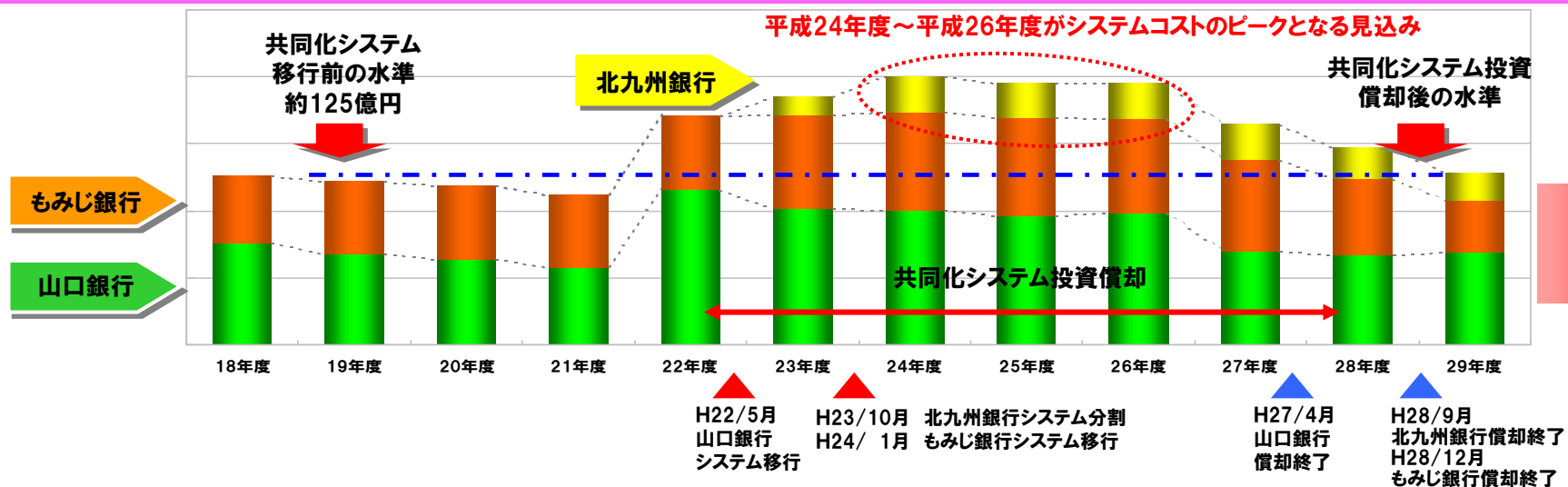
経費の推移と見通し

- ◆システム経費は平成24年度から平成26年度がピークとなるが、平成27年度以降は漸減見込。
- ◆システム・事務共通化の効果を最大限に活かし、営業部門の強化によりトップライン収益を増強させる。

3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



システムコストの推移(イメージ図)



平成26年3月期の業績予想

平成26年3月期は、貸出債権証券化に伴う譲渡益の計上がなくなり、平成25年3月期と比較し経常利益、当期純利益とも減少する見通し。資金利益や役務取引等利益など銀行の本源的な収益の増強を図る。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,177	△ 8
コア業務純益	310	△ 9
経常利益	400	△ 38
当期利益	240	△ 32
ROE	5.0%	△ 0.5%
総資産	100,000	6,727
自己資本比率	12.5%	△ 0.8%

2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,115	△ 13
資金収支	959	14
役務収支	134	29
経費	778	△ 8
人件費	352	△ 7
物件費	387	△ 1
コア業務純益	336	△ 5
経常利益	430	△ 27
当期利益	280	△ 24
与信費用	4	2

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行 + 北九州銀行		山口銀行 通期予想	北九州銀行 通期予想
	通期予想	25/3比		
コア業務粗利益	731	43	616	114
資金収支	625	15	524	101
役務収支	88	15	77	10
経費(△)	477	△ 7	385	91
人件費(△)	213	△ 4	170	42
物件費(△)	240	△ 4	196	43
コア業務純益	254	51	231	23
経常利益	310	23	285	25
当期利益	195	15	180	15
与信費用	0	17	△ 1	2

(単位:億円)	もみじ銀行	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	383	△ 57
資金収支	334	△ 0
役務収支	46	13
経費(△)	301	△ 0
人件費(△)	138	△ 3
物件費(△)	147	3
コア業務純益	81	△ 57
経常利益	120	△ 50
当期利益	85	△ 40
与信費用	3	△ 15

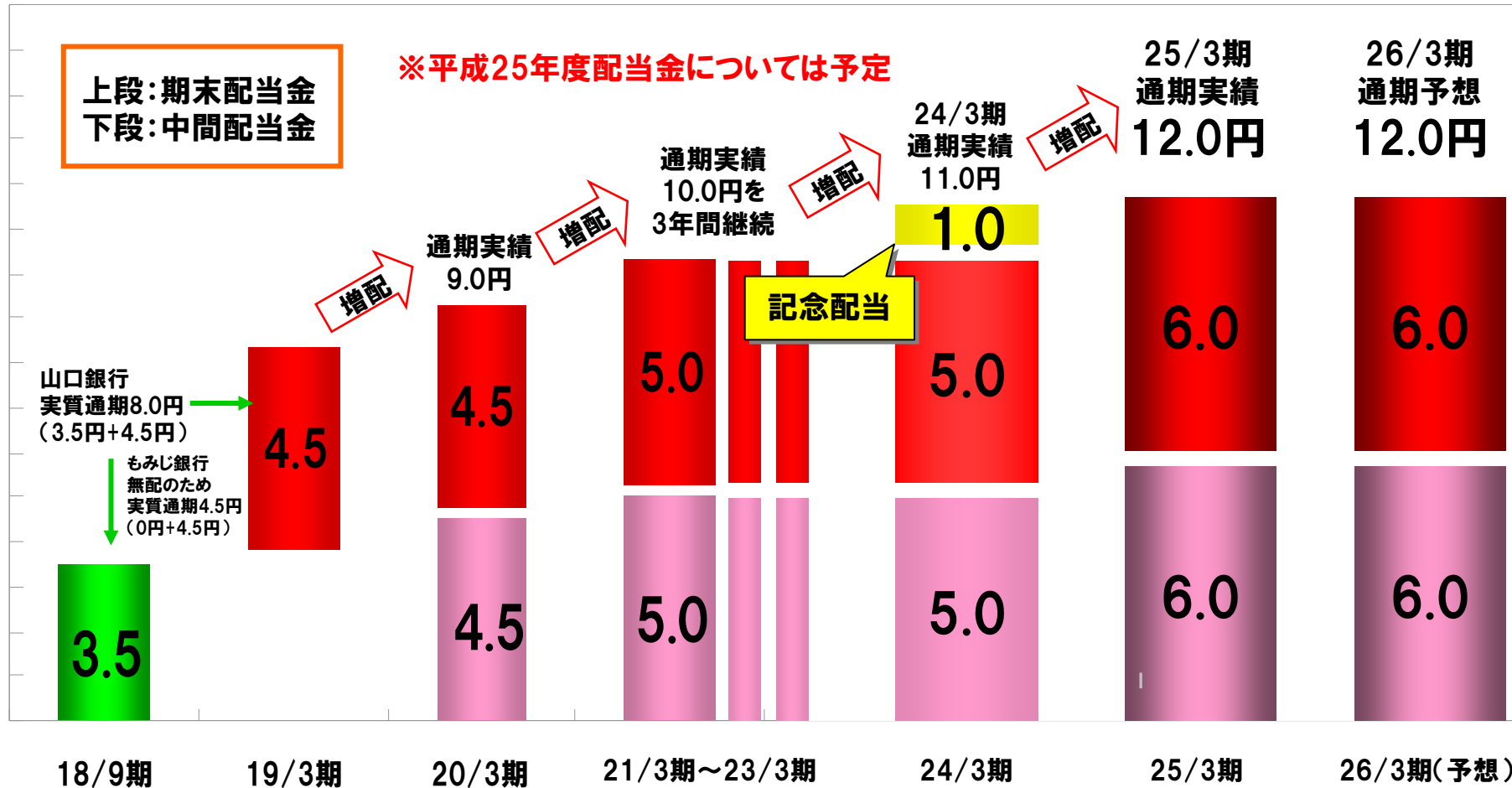
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

配当実績・計画

- ◆25/3期中間配当金は、24/3期中間期の普通配当5.0円と記念配当1.0円、合計6.0円を維持。
- ◆25/3期通期では、**2年連続して増配**となる年間12.0円の配当実績。26/3期も、25/3期と同額予想。

配当実績および予想

(円)



統合前実績

山口FGの配当実績・計画

2.グループ戦略

第2次中期経営計画(平成22年度～平成24年度)の総括

北九州銀行設立による北九州エリアの地元化推進、共同化システム移行完了など、YMFGの基盤構築に成果が上がったものの、資金需要の低迷や貸出金利回りの低下等により収益面では課題が残った。

◆計画最終年度(平成24年度)の実績及び当初計画比

	当初計画	実績	計画比
コア業務粗利益	1,500億円以上	1,185億円	△ 315億円
経常利益	550億円	438億円	△ 112億円
当期利益	300億円	272億円	△ 28億円
総資産	10兆円	9兆3,272億円	△ 6,728億円
ROE	5.5%以上	5.5%	+0.0%

◆平成23年10月北九州銀行開業



< YMFG の強み >

広域な商圈

3ブランド銀行の総合金融グループ

アジアの拠点

共通の事務・システム

< グループを取り巻く環境 >

内部環境

資金利鞘の縮小、ストック役務収益の縮小、本部比率が高い人員構成、システム移行に関する高い償却負担

外部環境

企業の海外進出とそれに伴う中小企業の淘汰、少子・高齢化の進展、アジアの成長、環境ビジネスへの機運高まり

制度
技術

金融円滑化法の終了、バーゼルIII、消費税増税、犯罪収益移転防止法改正、でんさい、IFRS、スマートフォン、ソーシャルメディア、ビッグデータ、クラウド



マーケットの縮小、収益力の低下

< 課題 >

新たなストック収益の積み上げ

- ・自らが地域同士をつないで、地域資源のポテンシャルを引き出しマーケットを創造する。
- ・総合金融グループとして付加価値のあるサービスを提供することで、自らのお客さまを増やす。

平成25年度から平成27年度までを計画期間とする中期経営計画(YMFG中期経営計画2013)を策定

グループ会社間の連携を更に強めるとともに、グループネットワークを活かして、地域を超えて広域な商圈を一つに繋げることによって地域活性化に更に注力し、地域とともに成長していくことを目指す。

目指すべき姿

地域を育み、ともに成長する金融グループ～Road to「YMFG ZONE」～

Zone of **O**ver-regional **N**etwork **E**conomy (地域を超えて各地域が密接に連携することで成長する経済圏)

基本目標

「一つのYMFG」への変革による地域との共栄

3つのブランド銀行を持つ金融グループとして、それぞれの地域に深く関わっていくとともに、地域同士を連携させ、地域を育てていく、グループ一体となった「一つのYMFG」へと変革し、グループ総合力の発揮により、地域活性化とYMFGの成長を図っていく。

重点施策

1. 「一つのYMFG」への変革

(1)一つになって「地域」へ

- ①情報ビジネスへの意識転換
- ②地域と深く関わる体制の強化

(2)一つの「YMFG」として

- ①「YMFG」への意識転換
- ②「YMFG」による統制機能の強化

2. 地域とYMFGの共栄

(1)地域の活力を創造する

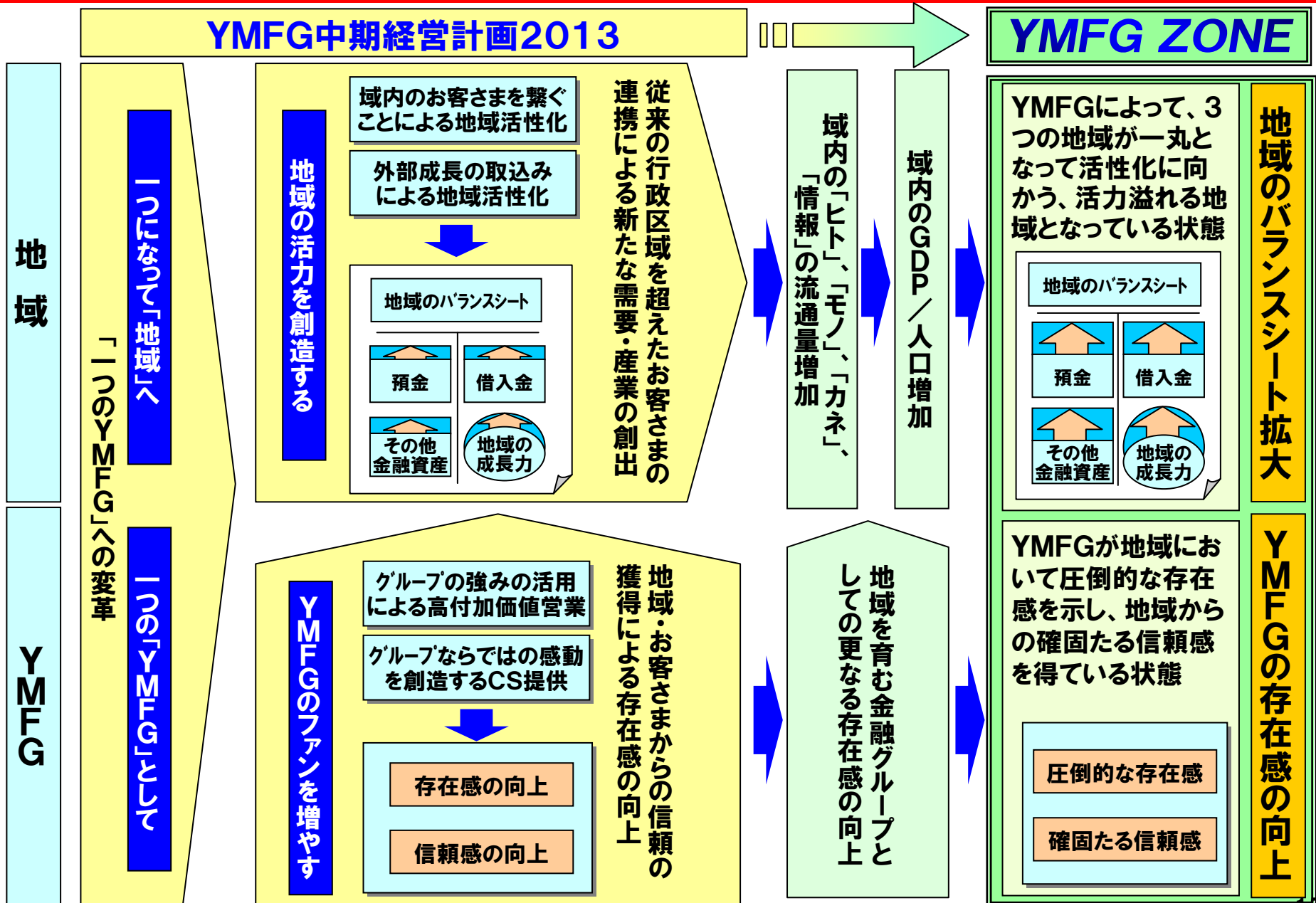
- ①グループネットワークを活かした連携による地域活性化
- ②アジアの成長の取込

(2)YMFGのファンを増やす

- ①お客さまから頼られるコンサルティング機能の発揮
- ②感動を創造するCSの提供

3. 「一つのYMFG」を支える

経営基盤の強化

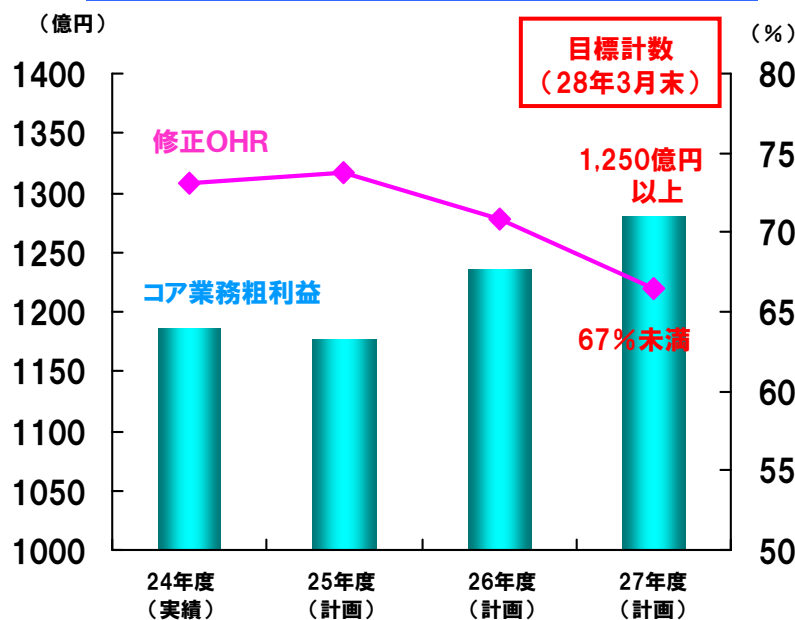


計画最終年度(平成27年度)において、山口FG連結の**コア業務粗利益1,250億円以上**、**経常利益400億円以上**、**当期利益250億円以上**、**修正OHRは67%未満**を見込む。

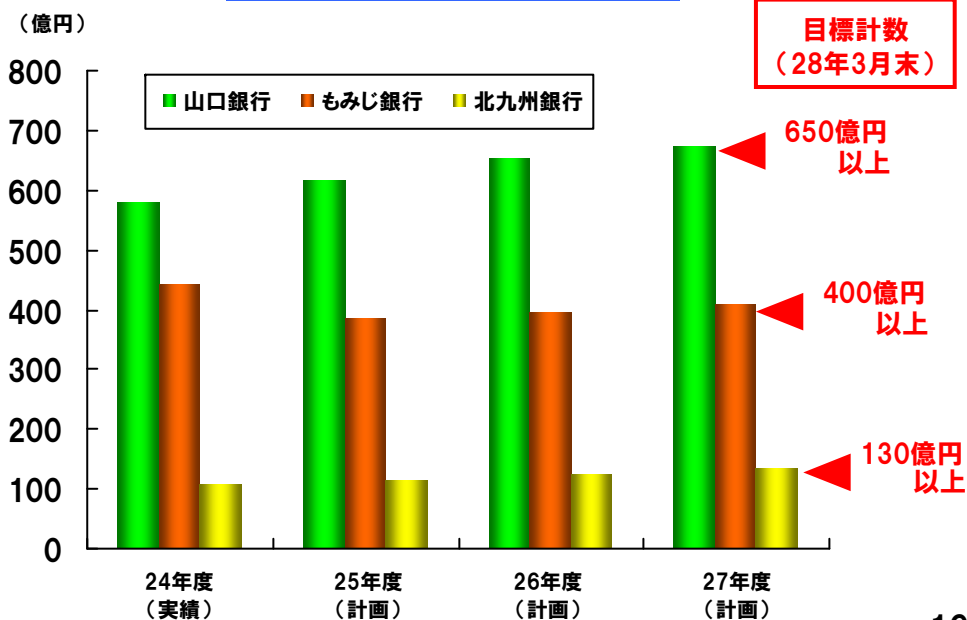
計画最終年度(平成27年度)の目標計数

	YMFG連結	3行合算 (単純合算)	山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行
コア業務粗利益	1,250億円以上	1,180億円以上	650億円以上	400億円以上	130億円以上
経常利益	400億円以上	440億円以上	300億円以上	110億円以上	30億円以上
当期利益	250億円以上	290億円以上	200億円以上	70億円以上	20億円以上
修正OHR	67%未満	-	60%未満	74%未満	75%未満

コア業務粗利益及び修正OHR(YMFG連結)



コア業務粗利益(銀行別)

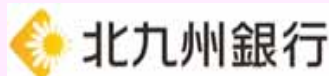


一つになって「地域」へ ～地域と深く関わる体制の強化～

グループ間の重複店舗の整理や支店機能の見直し等を行う一方で北九州銀行の店舗拡充を図り、店舗網や営業体制の強化を進め、各銀行がそれぞれのブランドの強みを活かせる地域に深く関わっていく。

平成23年10月 北九州銀行開業

- 平成23年10月 コレットプラス出張所 開設
- 平成23年11月 直方支店 開設
- 新宮支店 開設
- 平成24年 2月 到津支店 開設
- 平成24年 3月 宗像支店 開設
- 平成25年 3月 千早支店 開設
- 苅田支店 開設
- 平成25年 8月 ひびきの支店 開設予定



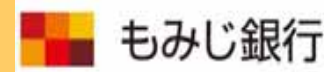
北九州市内を中心に
30支店・出張所

グループ間の重複店舗の整理や支店機能の見直し

- 平成25年5月 大島支店を柳井南支店へ統合
- 平成25年7月 五日市支店を廿日市支店へ統合予定
- 平成25年8月 平和通支店を広島支店へ統合予定

出張所(無人店舗)の設置

もみじ銀行堺町支店平和通出張所(仮称)を新規出店予定



広島県内を中心に
117支店・出張所



山口県内を中心に
137支店・出張所

- 平成25年1月 呉海岸通支店を呉中央支店へ統合
吉浦出張所を支店昇格
- 平成25年4月 手城出張所を福山東支店へ統合

県境を越えた
広域金融グループネットワーク

国内本支店・出張所数 **284**

(平成25年3月31日現在)

一つの「YMFG」として ～「YMFG」のブランディング活動～

YMFG共通のイメージキャラクター石川佳純選手による広報・広告やグループ社内報の発刊など、グループ内外へのブランディング活動により、「YMFG」の社内外認知度(ブランド意識)を高めていく。

- ◆平成25年3月に石川佳純選手と広告出演契約締結
- ◆平成25年4月より、テレビCM放映を開始

- ◆平成25年5月より、石川佳純選手応援定期預金「かすみん定期」の取扱いを開始(グループ3行共通)




石川佳純選手 応援定期預金
かすみん定期

お取扱い期間
平成25年5月1日(水) ▶ 平成25年10月31日(木)

期間中、「かすみん定期」へ10万円以上お預入れの方に
「石川佳純選手応援ツアー」や「かすみんグッズ」が、当たる!もらえる!

抽選で当たる! (当選者数限定)

1 石川佳純選手 応援ツアー
石川佳純選手出演の試合観戦チケットも付録付きます。
合計150名様(抽)

2 石川佳純選手オリジナルグッズ
(平成25年はスタンレストルム)
合計500名様(抽)

もれなくプレゼント!

先着75,000名様(抽)に
オリジナルクリアファイル
100万円以上お預入れの方
先着35,000名様(抽)に
応援タオルまたは
オリジナル貯金箱

「かすみん定期預入実績」(平成25年5月9日現在)

	3行合計	山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行
件数	1,673件	1,204件	413件	56件
金額	3,234百万円	2,323百万円	839百万円	72百万円

地域の活力を創造する ～ブランド活用を通じた地域への深化～

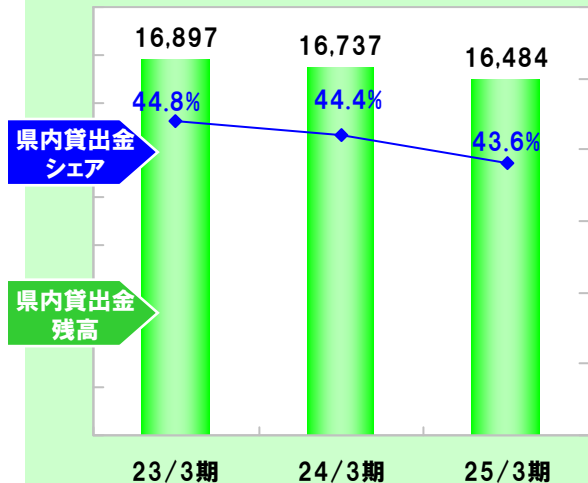
3つの銀行ブランドがそれぞれの営業地域に深く根差していきながら、ネットワークの活用と情報の共有を基軸としたグループ総合力の発揮により、各営業地域を密接に連携させ地域活性化を図っていく。



山口銀行

地域掘り起こし

山口県内貸出金・県内シェア (億円)



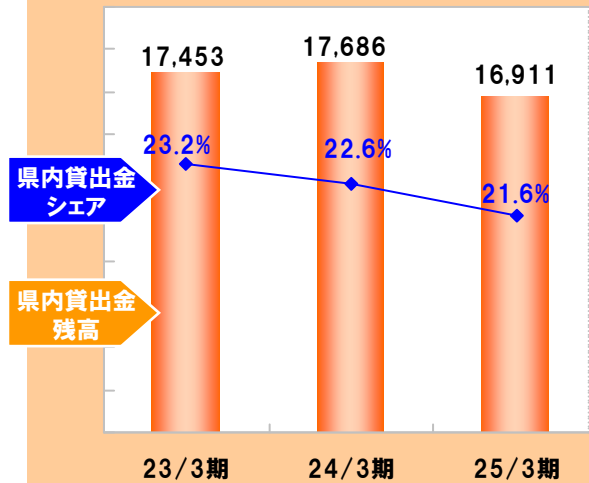
- ◆地域のリーディング・カンパニーとして、地域やお客様の情報を基軸に、積極的に地域を育んでいく。
- ◆グループのリーディング・バンクとして、グループ全体での業務の見直し、効率化を率先するなど、「一つのYMFG」に向けた取組みを主導していく。



もみじ銀行

メイン化推進

広島県内貸出金・県内シェア (億円)



- ◆グループの中において、マーケット規模が大きい広島という市場を担っており、グループ業績動向への影響も大きい。
- ◆「一つのYMFG」の実現により生まれる総合力を活かし、自らが主体的に地域と深く関わっていくことで地域との共栄を実現する。



北九州銀行

シェアアップ

北九州市内貸出金・市内シェア (億円)



- ◆グループの中において、新銀行としての潜在力を有しており、グループの発展に寄与するため飛躍的な成長を目指す。
- ◆「一つのYMFG」の実現により生まれる総合力を活かして、地域に必要不可欠な真の地元銀行へステップアップすることで、地域経済の活性化に貢献する。

グループ商圏の特性を活かして、地公体や大学等の専門家との新たな関わり方により、新たなアイデアを生み出し起業者に提供するなど、一歩踏み込んだ事業化支援を行う。

◆「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の創設（山口銀行）

- ・創設日 平成25年4月5日
- ・創設目的
商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、技術力のある中小企業の成長や農商工連携等に取り組む企業の育成を推進する。
- ・出資総額 10億円（当初出資 3億円）

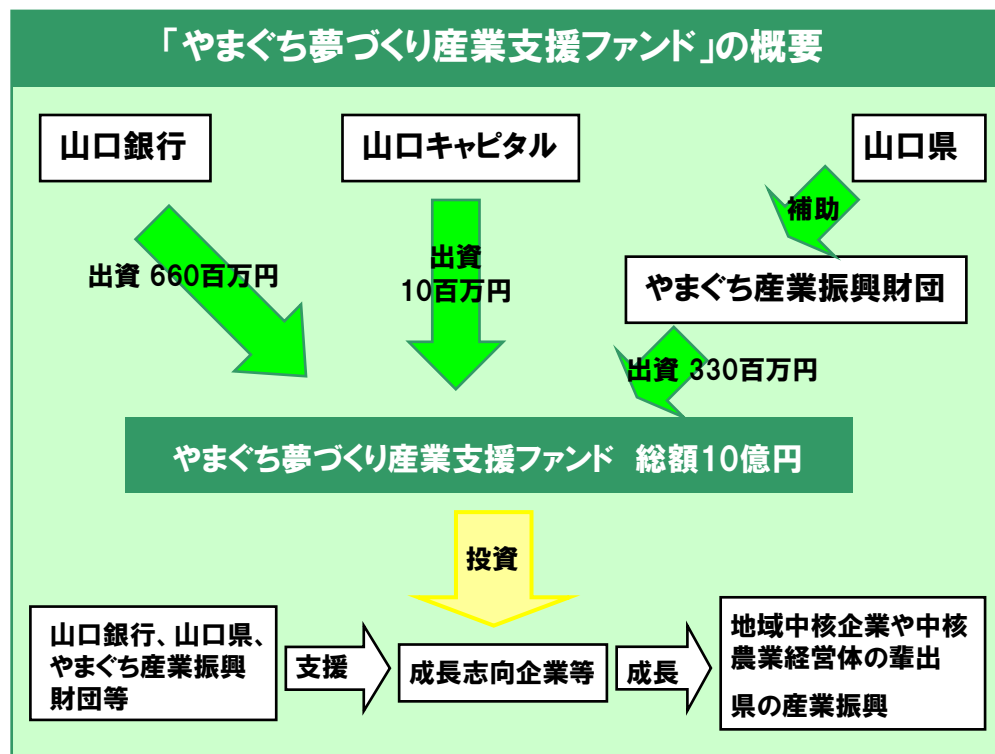
◆(株)地域経済活性化支援機構との事業再生ファンドの設立に向けた協議開始（山口銀行）

- ・設立時期 平成25年度上半期中
- ・設立目的
事業再生のノウハウを持つ(株)地域経済活性化支援機構と共同でファンドを運営することにより、企業の経営改善スピードを加速させていく。また、地域金融機関や公的機関からの出資を受けることにより、地域全体で事業再生に取り組む。
- ・ファンド総額 30億円程度

同機構第1号

◆中小企業再生ファンド「せとみらいファンド」への出資（もみじ銀行）

- ・ファンドの設立日 平成24年12月1日
- ・ファンドの設立目的
広島県内の地元金融機関及び(株)日本政策投資銀行との協調出資により組成された事業再生ファンドの活用により、企業に最適なソリューションを提案するとともに、企業の早期事業再生を通じて地域経済の活性化に資する。
- ・ファンド総額32億円、うち5億円をもみじ銀行にて出資



◆その他、主な連携協力締結

山口県産業技術センター（25年3月）、宇部市・宇部商工会議所等（24年7月）、広島県立総合技術研究所（24年3月）、九州工業大学（24年3月）等

地域の活力を創造する ～アジアの成長の取込①～

- ◆アジアに拠点を有するグループの強みを一層発揮し、アジアの成長を取り込むことで地域活性化を図る。
- ◆中国以外に海外拠点を設ける「チャイナプラスワン」に対応し、東南アジアへの進出支援も強化していく。

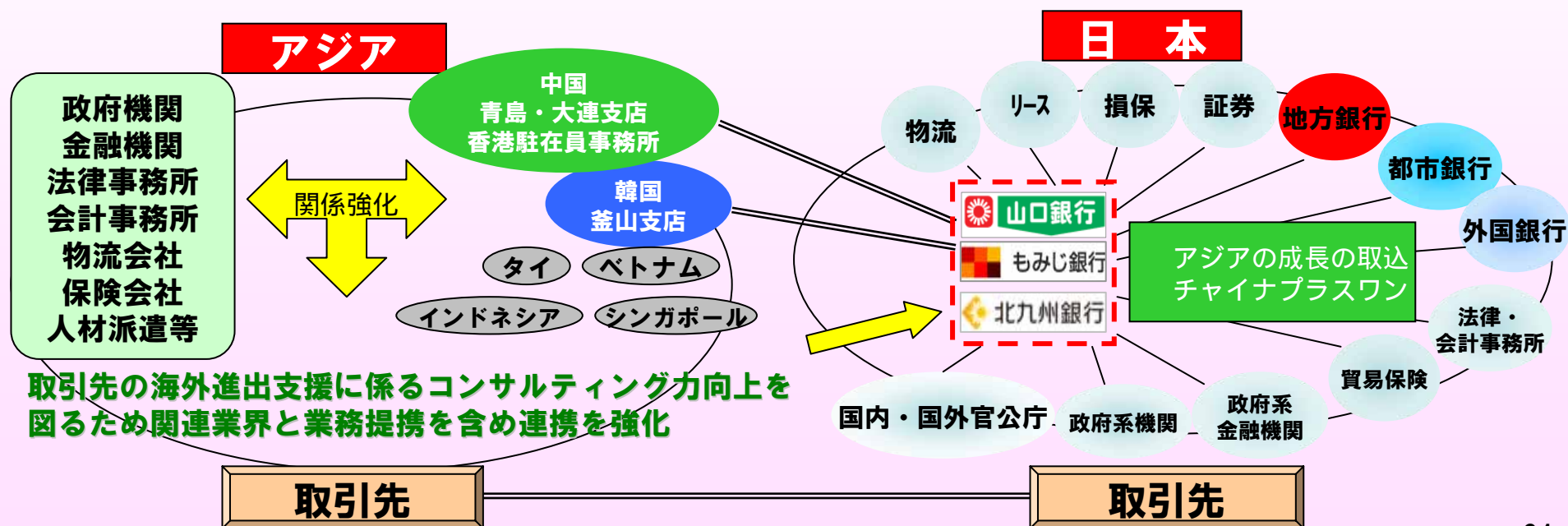
☆地銀で唯一、中国本土で人民元建融資取扱い

☆平成23年6月より、『クロスボーダー人民元決済』単独取扱い開始

人民元建貿易決済が自行内で完結可能に(地方銀行では山口銀行のみ)

☆他行スタンバイL/C 引受等により、人民元建て融資残高は3年間でほぼ**倍増**

全国15金融機関からスタンバイL/C引受け



地域の活力を創造する ～アジアの成長の取込②～

- ◆平成25年3月に、海外の金融機関との業務提携による「海外ビジネス支援サービス」の取扱開始
- ◆業務提携を行った金融機関などに子銀行の行員を積極的に派遣し、グローバルな人材の育成を強化

山口FGのアジアネットワーク

【中国】
・駐上海北九州市経済事務所
行員1名派遣

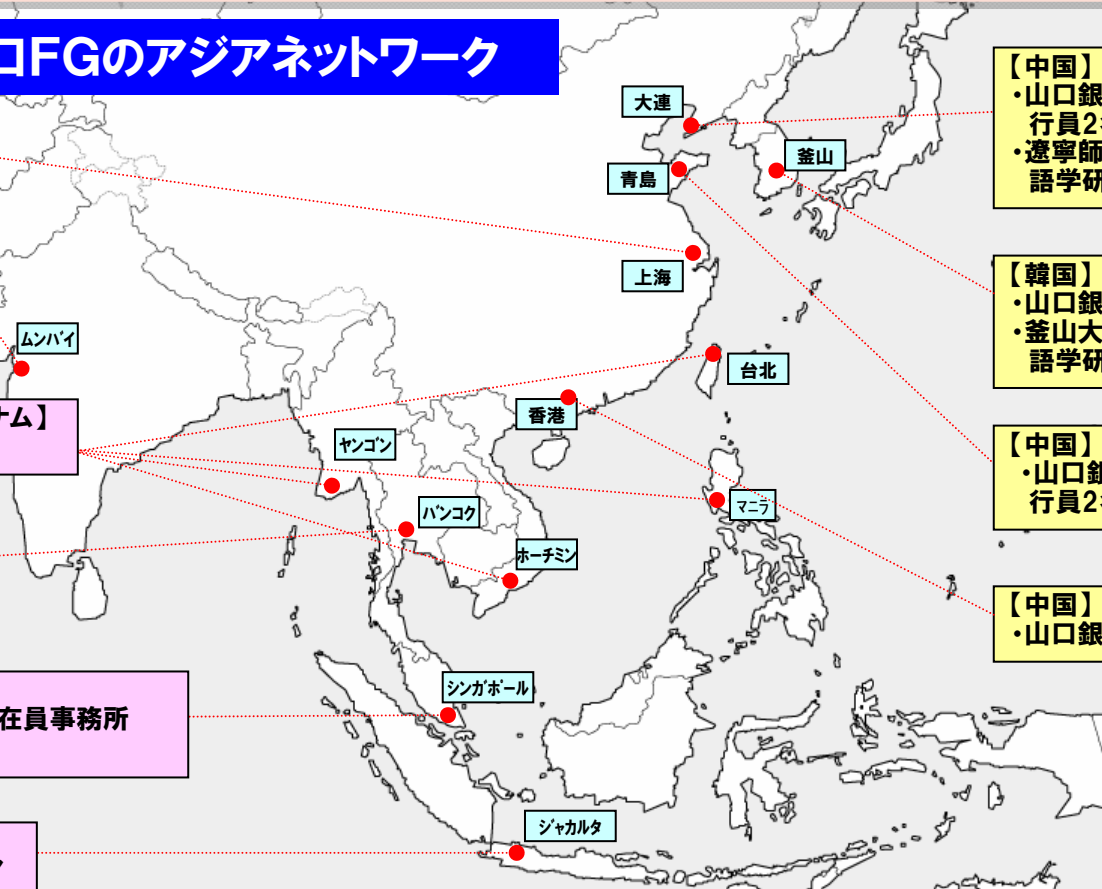
【インド】
業務提携:インドステイト銀行

【台湾、フィリピン、ミャンマー、ベトナム】
業務提携:大和証券グループ

【タイ】
業務提携:TMB銀行
行員1名派遣

【シンガポール】
中国銀行(岡山県)シンガポール駐在員事務所
行員1名派遣

【インドネシア】
業務提携:バンクネガラインドネシア



【中国】
・山口銀行大連支店
行員2名派遣
・遼寧師範大学
語学研修行員派遣1名



【韓国】
・山口銀行釜山支店
・釜山大学
語学研修行員派遣1名



【中国】
・山口銀行青島支店
行員2名派遣



【中国】
・山口銀行香港駐在員事務所



【その他、海外業務提携先】

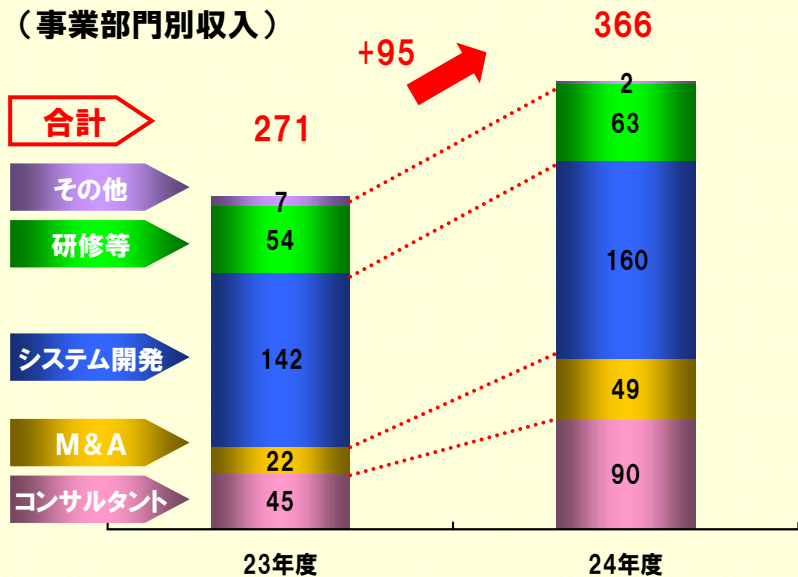
項目	災害等への備え	安心・安全	輸送網の確保	延払貿易・リース	海外拠点活用
提携企業	<ul style="list-style-type: none"> ・損害保険ジャパン ・東京海上日動火災保険 ・三井住友海上火災保険 	<ul style="list-style-type: none"> ・セコム ・ALSOK 	日本通運下関支店	東京センチュリーリース	<ul style="list-style-type: none"> ・中国銀行(岡山県) ・北陸銀行

地域のベストカンパニーとして、総合金融グループの強みを活かしたコンサルティング営業及び独自の商品・サービスの提供により、YMFGのファンを増やしていく。

お客さまから頼られるコンサルティング機能の発揮

- ◆お客さまのステージ(創業期・成長期・後退期・再生期)に合わせた提案
- ◆商品・サービスのパッケージ化及び組成
- ◆ケースに応じて、ワイエムコンサルティング等との連携

【ワイエムコンサルティングの業績】 (百万円)
(事業部門別収入)



※24年度よりグループ3行からの業務委託契約を廃止していることから、上グラフ中の23年度事業部門別収入に業務受託料収入を含めず。

新しい商品・サービスの提供による顧客の囲い込み

- ◆新サービスの提供等による顧客の囲い込みを強化
- ◆グループ商圏内にて、一体となった営業を展開

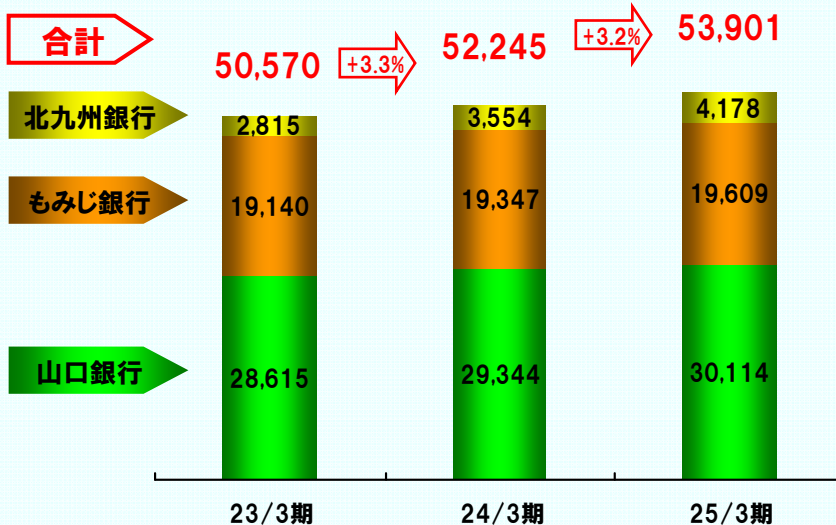
3行共通商品・サービスの提供

- ・「かすみ定期」、「宝くじ付定期」の取扱
- ・ATM相互記帳・利用手数料優遇 等

新サービスの提供

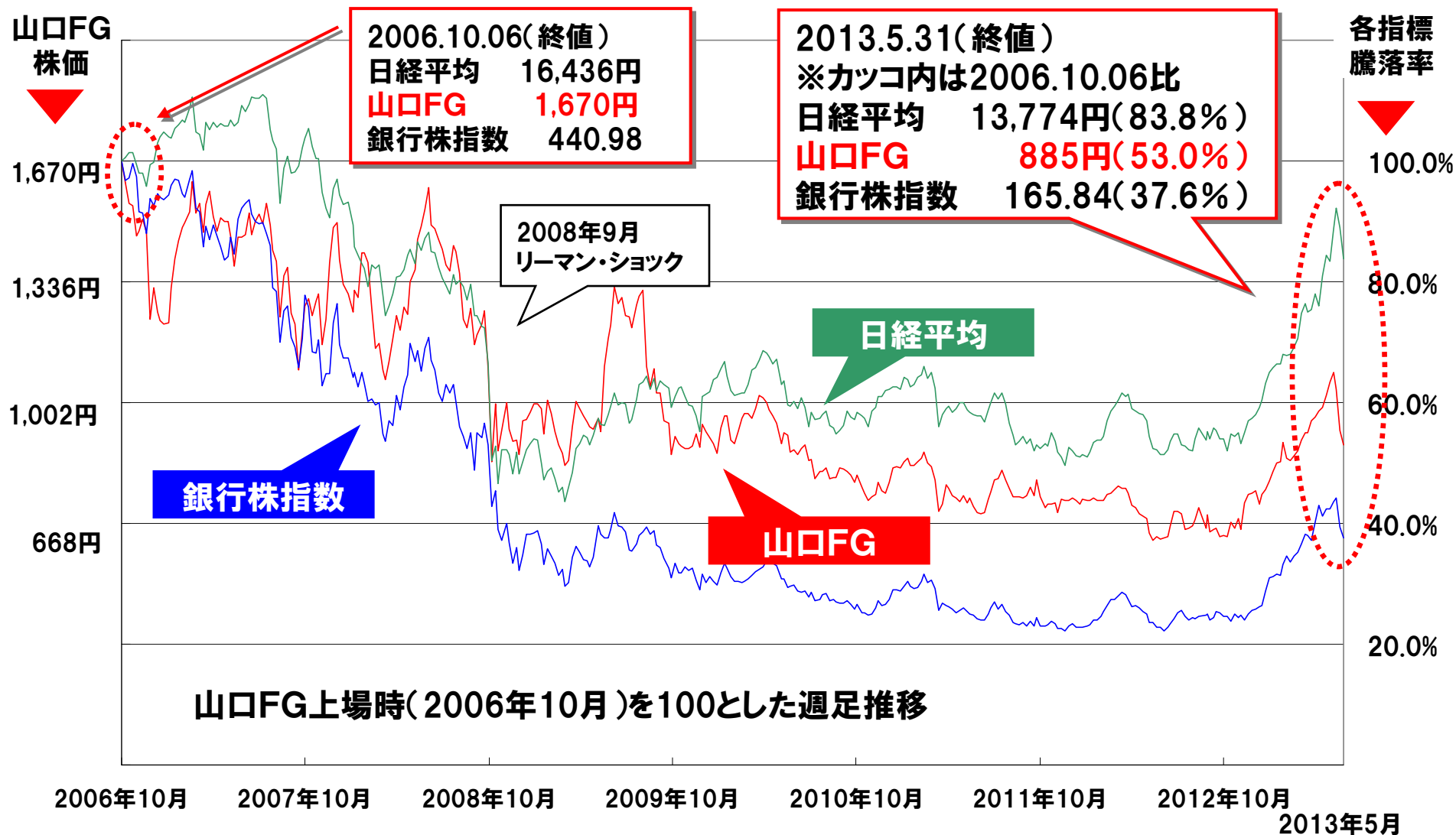
- ・「YMドリーム倶楽部」サービス内容見直し
- ・「住」相続」を切り口とした新サービス 等

【個人預金残高の推移】 (億円)



※合計残高及び各行残高は、流動性預金・定期性預金合計額

- ◆2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ◆2012年11月の衆院解散表明時と比較すると、山口FGの株価は**26.1%上昇**(2013年5月31日終値)。



3.資料編

業績推移(1) FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
	(通期)	(通期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	
コア業務粗利益	1,209	1,227	1,199	582	1,181	588	1,169	622	1,185	15
コア業務純益	364	385	373	123	292	159	277	182	319	42
経常利益	411	195	390	143	357	167	363	191	438	74
当期利益	269	137	267	80	191	87	179	122	272	93
ROE	6.03%	3.31%	6.19%	3.54%	4.23%	3.92%	3.92%	5.18%	5.52%	1.60%
総資産	75,300	77,772	86,475	88,201	87,581	89,865	91,154	90,830	93,272	2,118
BIS比率	10.45%	9.67%	11.13%	11.38%	11.36%	11.34%	11.75%	12.90%	13.34%	1.59%

3行合算

(億円)

	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
	(通期)	(通期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	
コア業務粗利益	1,184	1,200	1,152	575	1,149	564	1,120	599	1,128	8
資金収支	1,046	1,058	1,029	536	1,051	512	1,008	478	945	△ 62
役務収支	137	123	105	51	102	48	102	46	104	1
経費	788	773	753	420	810	387	810	402	786	△ 23
人件費	390	379	376	194	380	184	369	180	359	△ 9
物件費	358	355	339	196	384	181	395	199	389	△ 6
コア業務純益	396	426	398	155	338	176	309	196	341	32
経常利益	471	240	418	195	425	184	393	200	457	63
当期利益	322	185	303	130	264	111	215	137	304	89
与信関係費用	△ 15	101	31	33	27	40	4	9	1	△ 2

※記載金額の単位未満は切捨て表示

各行単体

(億円)

		20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
		(通期)	(通期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	
山口銀行	コア業務粗利益	745	744	718	368	733	359	665	284	579	△ 85
	資金収支	660	666	647	346	672	325	594	257	511	△ 82
	役務収支	82	69	68	33	68	33	66	29	65	△ 0
	経費	466	461	444	267	503	235	443	204	395	△ 48
	人件費	243	241	237	122	234	109	199	89	176	△ 23
	物件費	199	198	187	124	239	113	223	103	201	△ 22
	コア業務純益	279	283	273	100	230	123	221	80	184	△ 37
	経常利益	329	142	259	132	283	119	262	93	265	2
	当期利益	200	112	162	86	176	71	138	57	167	28
	与信関係費用	△ 17	104	67	31	45	34	21	△ 4	△ 14	△ 36
もみじ銀行	コア業務粗利益	439	455	434	207	415	204	402	261	441	39
	資金収支	385	391	382	189	379	187	365	171	334	△ 30
	役務収支	54	53	36	17	33	15	33	14	32	△ 1
	経費	321	312	308	152	307	151	322	153	301	△ 20
	人件費	146	137	138	72	146	74	149	70	141	△ 7
	物件費	158	156	152	71	144	68	150	74	144	△ 5
	コア業務純益	117	142	125	54	108	52	79	107	139	59
	経常利益	123	94	120	63	121	64	113	103	170	57
	当期利益	122	73	141	43	88	40	74	78	125	50
	与信関係費用	1	△ 2	△ 35	2	△ 18	6	△ 6	18	18	25
北九州銀行	コア業務粗利益							53	53	108	54
	資金収支							48	49	99	50
	役務収支							3	3	7	3
	経費							44	44	89	45
	人件費							19	20	41	21
	物件費							21	21	43	21
	コア業務純益							8	9	18	9
	経常利益							17	3	20	3
	当期利益							2	2	12	9
	与信関係費用							△ 11	△ 5	△ 1	9

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)										
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
国内貸出金合計	33,691	36,404	38,163	38,204	38,333	38,771	31,854	31,802	32,000	145
法人貸出金	25,397	26,953	27,388	27,389	27,031	27,782	21,475	22,050	22,024	165
大企業	8,194	9,132	9,775	9,656	9,699	10,183	9,638	9,884	10,034	396
中堅企業	1,338	1,308	1,283	1,573	1,531	1,566	989	1,022	971	△ 18
中小企業等	15,865	16,512	16,125	16,159	15,801	16,032	11,230	11,143	11,018	△ 212
地公体	2,315	3,239	4,410	4,368	4,677	4,488	4,738	4,648	4,771	32
外郭団体	960	1,008	944	825	946	818	428	190	166	△ 262
個人ローン	5,018	5,201	5,625	5,622	5,679	5,682	4,828	4,912	5,037	208
住宅ローン	4,210	4,406	4,632	4,646	4,714	4,726	4,058	4,154	4,287	228
その他ローン	807	796	992	976	964	955	770	757	750	△ 19

もみじ銀行

(億円)										
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
国内貸出金合計	17,513	18,602	18,878	18,683	18,912	18,705	18,797	17,759	18,279	△ 518
法人貸出金	12,427	13,021	12,757	12,525	12,344	12,157	12,126	12,130	12,154	27
大企業	1,965	2,866	2,630	2,579	2,878	2,903	2,925	3,483	3,593	667
中堅企業	738	761	1,170	1,148	761	844	804	596	582	△ 221
中小企業等	9,723	9,394	8,956	8,797	8,704	8,409	8,397	8,049	7,978	△ 418
地公体	955	1,169	1,476	1,553	1,719	1,739	1,760	1,736	2,101	341
外郭団体	193	167	205	61	205	105	134	70	64	△ 69
個人ローン	3,937	4,243	4,438	4,543	4,642	4,703	4,776	3,822	3,958	△ 818
住宅ローン	3,082	3,435	3,701	3,723	3,963	4,056	4,111	3,175	3,351	△ 759
その他ローン	855	807	737	819	678	646	665	647	606	△ 58

北九州銀行

(億円)										
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
国内貸出金合計							7,231	7,503	7,654	423
法人貸出金							5,791	5,967	6,003	212
大企業							605	726	832	227
中堅企業							521	566	552	31
中小企業等							4,664	4,674	4,618	△ 46
地公体							399	400	389	△ 9
外郭団体							20	29	55	34
個人ローン							1,020	1,106	1,206	186
住宅ローン							810	878	956	146
その他ローン							210	228	249	39

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行 (億円)											
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比	
預金	41,347	43,640	47,387	48,065	48,282	49,867	43,703	44,489	45,780	2,077	
内容別	一般	39,197	41,008	44,276	44,946	43,939	40,028	40,338	41,543	1,515	
	公金	1,650	2,064	2,306	2,677	2,454	2,752	2,532	2,505	△ 246	
	金融	500	566	803	442	1,888	1,589	922	1,619	809	
商品別	邦貨定期性預金	20,108	22,239	24,547	25,706	24,384	22,173	23,622	23,694	1,521	
	邦貨流動性預金	21,120	21,093	22,527	21,974	23,504	21,248	20,648	21,849	601	
	外貨預金	118	307	311	384	394	281	218	236	△ 45	
譲渡性預金	2,545	2,517	4,178	5,173	4,013	5,134	4,759	4,173	3,340	△ 1,418	
もみじ銀行 (億円)											
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比	
預金	24,039	24,748	26,520	25,978	26,068	25,531	25,995	25,833	26,122	127	
内容別	一般	23,716	24,043	25,287	24,995	25,454	24,956	25,648	25,453	25,816	167
	公金	90	390	731	646	253	246	101	266	116	14
	金融	233	315	501	336	361	328	245	112	190	△ 55
商品別	邦貨定期性預金	13,818	14,289	15,111	14,897	14,768	14,470	14,738	14,338	14,456	△ 282
	邦貨流動性預金	10,051	10,007	10,454	10,443	10,807	10,696	11,156	11,405	11,577	420
	外貨預金	169	451	954	638	492	364	99	89	88	△ 11
譲渡性預金	545	145	444	914	1,557	1,612	1,915	1,392	2,079	164	
北九州銀行 (億円)											
	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比	
預金							6,377	6,638	6,842	465	
内容別	一般						6,271	6,380	6,759	488	
	公金						46	212	28	△ 18	
	金融						59	46	55	△ 4	
商品別	邦貨定期性預金						3,379	3,704	3,971	591	
	邦貨流動性預金						2,871	2,800	2,751	△ 119	
	外貨預金						126	133	119	△ 6	
譲渡性預金						449	479	427	△ 22		

※計数は国内勘定のみ(もみじ銀行は非居住者円預金を含む)。記載金額は、単位未満を切捨て表示

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(単位：億円)

	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用勘定計	42,961	45,607	49,473	52,239	52,106	53,356	50,719	48,234	48,589	2,130
貸出金	31,788	33,976	35,980	36,506	36,587	36,726	33,656	30,445	30,803	2,853
有価証券	10,050	10,062	10,417	11,713	12,317	11,908	12,371	13,416	13,591	1,220
コールローン	909	948	2,646	3,732	2,917	3,971	4,082	4,142	3,927	155
資金調達勘定計	40,999	43,555	47,404	50,182	50,047	51,398	49,049	46,738	46,981	2,068
預金	39,523	41,784	44,183	46,237	46,104	47,097	44,506	42,158	42,944	1,562
譲渡性預金	1,771	2,142	3,627	4,178	4,181	4,701	4,838	4,808	4,168	670
コールマネー	407	376	300	412	393	111	253	346	396	143

もみじ銀行

(単位：億円)

	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用勘定計	24,593	24,666	26,026	26,894	26,893	26,916	27,087	27,059	27,102	15
貸出金	16,649	17,428	18,416	18,521	18,486	18,558	18,562	18,431	18,024	538
有価証券	7,342	6,732	6,675	7,410	7,598	7,325	7,446	6,941	7,310	136
コールローン	506	437	902	915	767	958	1,001	1,620	1,700	699
資金調達勘定計	24,329	24,375	25,573	26,266	26,188	26,123	26,262	26,286	26,382	120
預金	23,595	23,662	24,765	25,413	25,333	25,096	25,049	25,281	25,325	276
譲渡性預金	276	298	397	483	590	848	1,027	828	880	147
コールマネー	21	18	19	7	7	6	9	8	9	0

北九州銀行

(単位：億円)

	20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	H24/3期	H24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用勘定計							7,208	7,319	7,500	292
貸出金							6,774	7,011	7,194	420
有価証券							155	148	148	7
コールローン							251	124	123	128
資金調達勘定計							6,703	6,844	7,024	321
預金							5,779	6,087	6,307	528
譲渡性預金							418	464	415	3
コールマネー							501	288	297	204

※金額は単位未満を四捨五入して表示。北九州銀行については開業後平残。

山口銀行

		20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.914	1.852	1.564	1.516	1.462	1.356	1.302	1.177	1.164	△ 0.138
貸出金利回	ア	1.987	1.930	1.736	1.642	1.618	1.558	1.537	1.461	1.431	△ 0.106
有価証券利回		1.727	1.659	1.346	1.557	1.295	1.163	1.056	0.843	0.841	△ 0.215
コールローン利回		1.173	1.548	0.219	0.181	0.251	0.214	0.195	0.147	0.160	△ 0.035
資金調達利回	②	0.394	0.408	0.267	0.199	0.179	0.145	0.135	0.116	0.115	△ 0.020
預金利回		0.318	0.365	0.257	0.194	0.172	0.136	0.123	0.099	0.098	△ 0.025
譲渡性預金利回		0.634	0.650	0.319	0.179	0.169	0.140	0.141	0.146	0.147	0.006
コールマネー利回		4.626	2.928	0.663	0.572	0.647	1.409	1.038	0.974	0.891	△ 0.147
経費率	③	1.137	1.059	0.938	1.063	1.005	0.914	0.904	0.872	0.841	△ 0.063
資金調達原価 ② + ③	④	1.531	1.468	1.206	1.263	1.185	1.059	1.040	0.988	0.956	△ 0.084
総資金利鞘 ① - ④		0.383	0.384	0.358	0.253	0.277	0.297	0.262	0.189	0.208	△ 0.054
預金等原価	イ	1.461	1.429	1.192	1.251	1.172	1.044	1.024	0.972	0.941	△ 0.083
預金等利回	ウ	0.332	0.379	0.261	0.192	0.172	0.136	0.124	0.104	0.103	△ 0.021
経費率		1.128	1.050	0.930	1.058	1.000	0.907	0.899	0.868	0.838	△ 0.061
預貸金利鞘	ア - イ	0.526	0.501	0.544	0.391	0.446	0.514	0.513	0.489	0.490	△ 0.023
単純預貸金利鞘	ア - ウ	1.655	1.551	1.475	1.450	1.446	1.422	1.413	1.357	1.328	△ 0.085
単純預証利鞘		1.395	1.280	1.085	1.365	1.123	1.027	0.932	0.739	0.738	△ 0.194

もみじ銀行

		20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.937	1.941	1.746	1.624	1.592	1.511	1.457	1.351	1.317	△ 0.140
貸出金利回	ア	2.332	2.246	2.021	1.912	1.892	1.807	1.781	1.668	1.653	△ 0.128
有価証券利回		1.091	1.170	1.099	0.968	0.897	0.872	0.783	0.783	0.725	△ 0.058
コールローン利回		0.710	0.429	0.130	0.129	0.135	0.146	0.144	0.124	0.120	△ 0.024
資金調達利回	②	0.372	0.358	0.282	0.222	0.186	0.128	0.113	0.087	0.084	△ 0.029
預金利回		0.304	0.319	0.259	0.203	0.174	0.124	0.108	0.081	0.078	△ 0.030
譲渡性預金利回		0.723	0.606	0.296	0.218	0.194	0.167	0.155	0.148	0.139	△ 0.016
コールマネー利回		4.578	3.690	0.895	0.660	0.658	0.903	0.849	0.395	0.297	△ 0.552
経費率	③	1.323	1.282	1.208	1.159	1.175	1.158	1.227	1.167	1.144	△ 0.083
資金調達原価 ② + ③	④	1.695	1.640	1.490	1.381	1.361	1.286	1.340	1.254	1.228	△ 0.112
総資金利鞘 ① - ④		0.242	0.301	0.256	0.243	0.231	0.225	0.117	0.097	0.089	△ 0.028
預金等原価	イ	1.658	1.627	1.488	1.379	1.362	1.292	1.346	1.258	1.232	△ 0.114
預金等利回	ウ	0.309	0.322	0.260	0.203	0.175	0.125	0.110	0.083	0.080	△ 0.030
経費率		1.348	1.304	1.228	1.175	1.187	1.166	1.235	1.175	1.152	△ 0.083
預貸金利鞘	ア - イ	0.674	0.619	0.533	0.533	0.530	0.515	0.435	0.410	0.421	△ 0.014
単純預貸金利鞘	ア - ウ	2.023	1.924	1.761	1.709	1.717	1.682	1.671	1.585	1.573	△ 0.098
単純預証利鞘		0.782	0.848	0.839	0.765	0.722	0.747	0.673	0.700	0.645	△ 0.028

※ 1 商品有価証券を含んでおりません。

北九州銀行

		20/3期	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	前年同期比
資金運用利回	①							1.483	1.479	1.455	△ 0.028
貸出金利回	ア							1.546	1.482	1.462	△ 0.084
有価証券利回								0.592	2.193	1.960	1.368
コールローン利回								0.467	0.743	0.671	△ 0.204
資金調達利回	②							0.140	0.139	0.139	△ 0.001
預金利回								0.131	0.136	0.137	0.006
譲渡性預金利回								0.231	0.161	0.155	△ 0.076
コールマネー利回								0.130	0.115	0.116	△ 0.014
経費率	③							1.339	1.289	1.280	△ 0.059
資金調達原価 ② + ③	④							1.480	1.428	1.420	△ 0.060
総資金利鞘 ① - ④								0.003	0.051	0.035	0.032
預金等原価	イ							1.587	1.484	1.476	△ 0.111
預金等利回	ウ							0.138	0.137	0.138	0.000
経費率								1.449	1.346	1.338	△ 0.111
預貸金利鞘	ア - イ							△ 0.041	△ 0.002	△ 0.014	△ 0.027
単純預貸金利鞘	ア - ウ							1.408	1.345	1.324	△ 0.084
単純預証利鞘								0.454	2.056	1.822	1.368

※単位未満を四捨五入して表示。

債務者区分の遷移状況(平成24年3月末⇒平成25年3月末)

(1)山口銀行

ランクダウン 719億円

(億円)

		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年3月末	正常先	22,451	21,466	480	0	3	2	-	498	
	要留意先	その他	5,081	622	3,917	130	45	5	13	346
		要管理先	83	-	25	49	1	1	-	5
	破綻懸念先	449	0	32	4	386	15	4	5	
	実質破綻先	101	-	-	-	3	76	15	6	
	破綻先	71	-	-	-	-	0	56	14	

(2)もみじ銀行

ランクダウン 588億円

ランクアップ 688億円

(億円)

		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年3月末	正常先	10,308	9,372	407	0	2	0	0	523	
	要留意先	その他	3,772	394	3,045	61	46	11	20	192
		要管理先	39	0	23	13	0	0	-	2
	破綻懸念先	247	-	1	-	204	21	8	12	
	実質破綻先	87	-	-	-	-	74	7	4	
	破綻先	113	-	-	-	-	0	105	8	

(3)北九州銀行

ランクダウン 376億円

ランクアップ 419億円

(億円)

		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年3月末	正常先	4,207	3,783	314	4	0	0	-	105	
	要留意先	その他	2,223	307	1,820	9	29	1	5	49
		要管理先	141	-	93	18	-	2	-	26
	破綻懸念先	68	-	1	-	54	7	0	4	
	実質破綻先	31	-	-	-	-	29	0	0	
	破綻先	75	-	-	-	-	-	66	9	

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

ランクアップ 403億円

債務者区分の遷移状況(平成24年9月末⇒平成25年3月末)

(1)山口銀行

ランクダウン 419億円

(億円)

		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年9月末	正常先	23,099	22,555	244	0	0	0	-	298	
	要留意先	その他	4,368	184	3,971	115	22	3	0	69
		要管理先	96	-	24	60	6	-	-	3
	破綻懸念先	428	0	7	2	397	16	1	2	
	実質破綻先	80	-	-	-	0	73	4	2	
	破綻先	80	-	-	-	-	-	73	6	

(2)もみじ銀行

ランクダウン 368億円

ランクアップ 219億円

(億円)

		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年9月末	正常先	10,518	9,829	240	-	1	0	-	445	
	要留意先	その他	3,446	115	3,189	57	22	4	4	52
		要管理先	20	-	3	16	0	0	-	0
	破綻懸念先	260	-	1	-	220	23	8	6	
	実質破綻先	81	-	-	-	-	75	3	2	
	破綻先	125	-	-	-	-	-	117	7	

(3)北九州銀行

ランクダウン 265億円

ランクアップ 119億円

(億円)

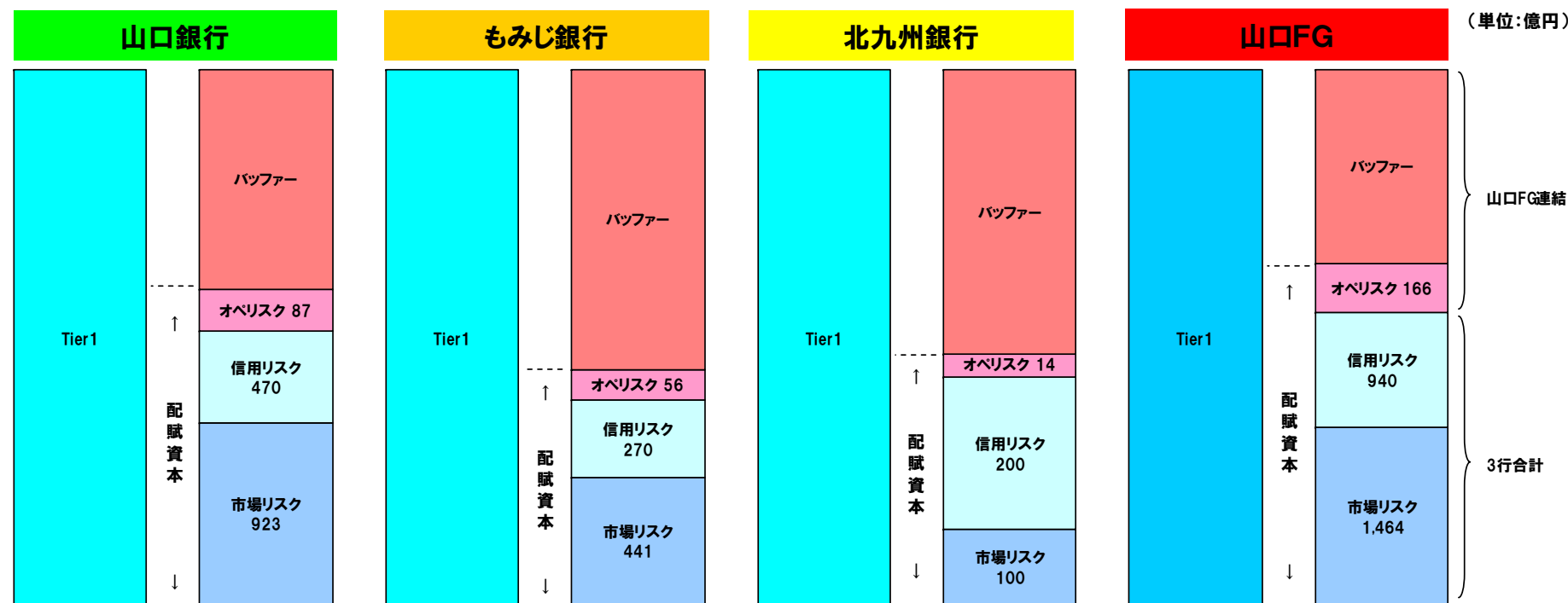
		25年3月末							その他	
		正常先	要留意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
24年9月末	正常先	4,493	4,203	211	-	-	0	-	78	
	要留意先	その他	2,205	54	2,055	9	27	3	1	53
		要管理先	112	-	87	23	-	-	-	1
	破綻懸念先	72	-	0	-	57	8	3	1	
	実質破綻先	31	-	-	-	0	30	0	0	
	破綻先	66	-	-	-	-	-	63	2	

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

ランクアップ 143億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('13/3末)	389	211	159	759
	資本配賦額	470	270	200	940
	使用率	82.8%	78.1%	79.5%	
市場リスク	リスク量('13/3末)	622	230	94	946
	資本配賦額	923	441	100	1,464
	使用率	67.4%	52.2%	94.0%	

・Tier1 :普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準(バーゼル3)に基づきTier1を算出)
・バッファ :想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

※バーゼル3は平成25年3月31日から適用されることから、平成24年度下半期の資本配賦から国際統一基準(バーゼル3)でのTier1定義(試算値)に基づき資本配賦を行った。

※各銀行において、Tier1の範囲内でリスクを取得するとともに、山口FG連結においてもリスク量がTier1の範囲内となるよう運営。

参考	山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	山口FG	注釈
平成24年9月期Tier1	2,594	1,805	698	4,156	山口FG及び山口銀行は国際統一基準(バーゼル2)により算出。 もみじ銀行及び北九州銀行は国内基準(バーゼル2)により算出。
平成25年3月期Tier1	2,694	1,747	709	4,356	平成25年3月期から、山口FG及び山口銀行は国際統一基準(バーゼル3)により算出。 もみじ銀行及び北九州銀行は国内基準(バーゼル2)により算出。

◆景気は回復の兆しが窺える状況となっている。

生産	電子部品・デバイス等の一部品目の生産が依然低迷している一方、化学の生産が比較的堅調に推移し、自動車も新型車の生産が好調に推移するなど、持ち直しに向けた動きとなっている。
設備投資	平成24年度の設備投資額は(山口経済研究所調べ)、大手化学メーカーの一部で投資額が大幅に減額されたことを主因に、2年ぶりに前年度を下回った(前年度比▲2.9%)。
輸出	輸出額は、下関港の韓国向け半導体等製造装置等の前年割れが続いている一方、防府港の米国や欧州向け自動車、徳山港のアジア向け化学製品等が増加し、全体でも昨年12月以降4ヶ月連続で前年を上回っている。
個人消費	家電量販店販売額が前年割れを続け、乗用車販売台数もエコカー補助金の終了以降、低調に推移するなど、一部に弱めの動きがみられる。
公共工事	平成24年度累計の公共工事請負金額は、国からの発注が前年度の大幅増の反動もあって大きく減少し、県からの発注も減少を続け、全体でも前年度比11.2%減少と3年連続で前年度を下回った。
住宅建築	新設住宅着工戸数は、消費税率の引き上げを見込んだ駆け込み需要や金利低下等を背景に、貸家や分譲マンションの着工が増加傾向となっている。
雇用情勢	今年3月の有効求人倍率は0.91倍で2ヶ月連続で前月を上回り、製造業の所定外労働時間も増加傾向にあるなど、持ち直しに向けた動きがみられる。
企業倒産	倒産件数は今年3月に38ヶ月ぶりの2桁台となり、足元で若干増加している。なお、大型倒産(負債額10億円以上)も今年に入って3件発生した。

◆景気は持ち直しつつある。

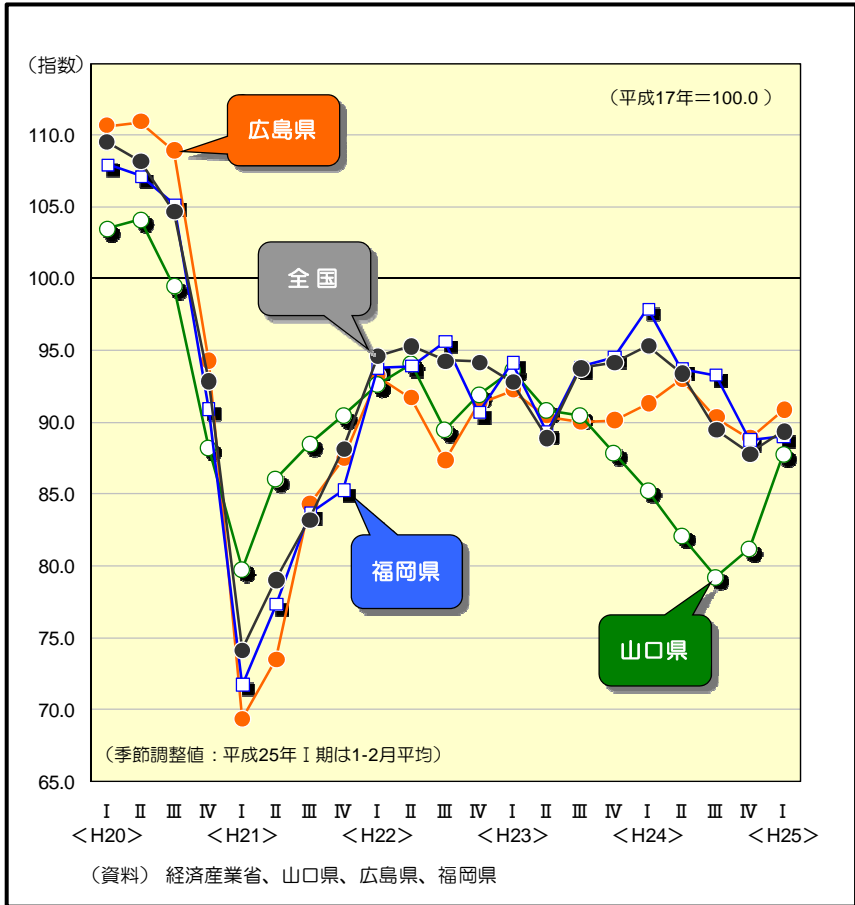
生産	輸出回復から、自動車の生産が好調に推移しており、電気機械(スマートフォン向け部品)も高水準の生産を続けている。一方、鉄鋼は造船向けが不振で、一般機械も操業度が低下しており、全体では生産は横這いとなっている。
設備投資	平成24年度の設備投資額は(日銀広島支店調べ)、大型投資の一巡等から、製造業(前年度比▲24.8%)、非製造業(同▲14.1%)がいずれも前年度を下回り、全体でも同19.2%減少と2年連続の前年比マイナスとなっている。
輸出	自動車の北米向け等の輸出が増加し、鉄鋼の輸出も下げ止まるなど、足元で増加の動きとなっている。
個人消費	百貨店では高額品が好調で販売が持ち直している一方、家電量販店販売額についてはテレビ・パソコンの不振が続き、乗用車販売台数も前年を下回る水準で推移するなど、消費全体では横這いでの動きとなっている。
公共工事	平成24年度累計の公共工事請負金額は前年度比1.8%増加と4年ぶりに前年度を上回り、市町村からの発注を中心に持ち直している。
住宅建築	今年1-3月期の着工戸数は、貸家や分譲マンションの増加を主因として、前年比19.5%増加と2期連続で前年を上回っており、全体としては増加傾向にある。
雇用情勢	有効求人倍率が横這い圏内で推移し、雇用者所得も前年を下回る水準で推移するなど、厳しい状況が続いているが、夏季賞与を引き上げる企業が見られるなど、一部に明るい兆しが窺える。
企業倒産	件数、負債総額ともに低水準での推移となっており、全体として落ち着いた状態が続いている。

北九州地区の経済は、為替円安の好影響が徐々にみられてきていること等を背景に、下げ止まりつつある。

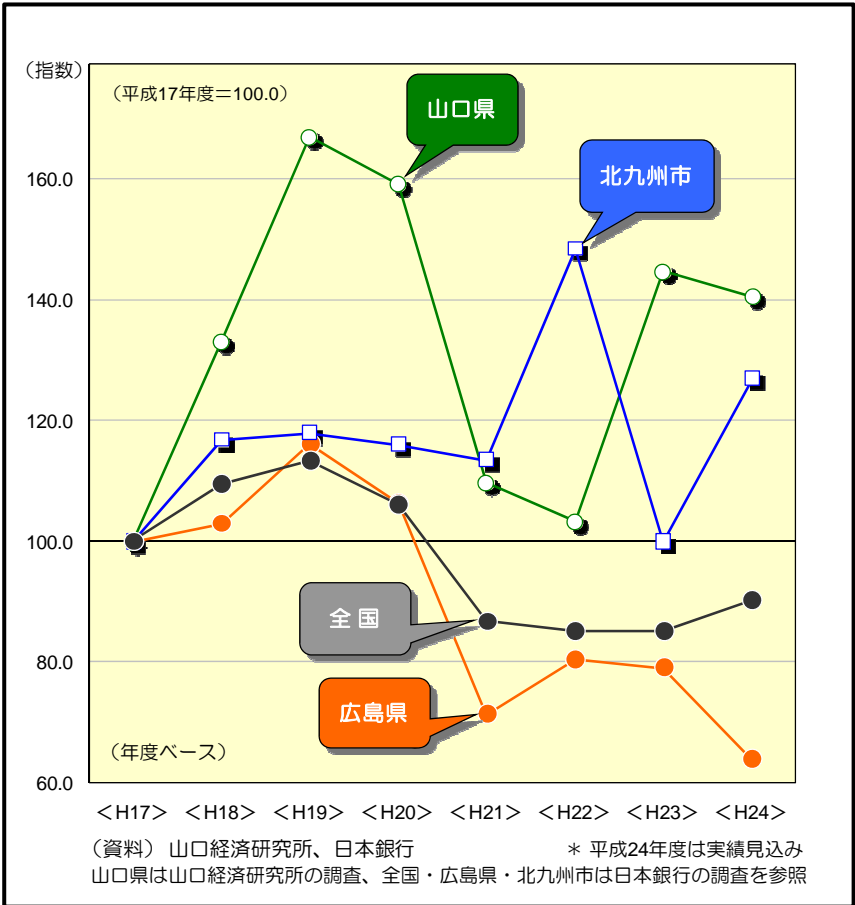
生産	国内外の需給緩和等を背景に電子部品等では低下しているものの、国内需要が堅調な住設機器等では高水準の生産が続いているほか、為替円安の好影響が除々に見られてきていることや、在庫調整が一巡してきていること等を背景に、鉄鋼、自動車では下げ止まりつつある。
設備投資	先行きの需要見通しに幾分改善がみられるものの、足許横ばい圏内の動きとなっている。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2012年度の設備投資額は、前年度に比べ製造業が41.0%増加、非製造業が6.3%増加し、全体では26.9%の増加となる見込み。
輸出	為替円安等を背景に回復しつつある。
個人消費	全体として底堅く推移している。
公共工事	下げ止まっており、2012年度の公共工事請負額は、前年度比で10.0%増加した。
住宅建築	持ち直し基調が続いており、2012年度の新設住宅着工戸数は、前年度比4.1%増加した。
雇用情勢	緩やかに改善しており、2013年3月の有効求人倍率は0.83倍となっている。
企業倒産	2012年度の企業倒産は、件数、負債総額ともに前年度を上回った。

- ◆ 鉱工業生産指数：輸出の増加を背景に、全体の生産水準は持ち直し
- ◆ 設備投資額（平成24年度）：山口県（前年度比▲2.9%）が2年ぶりのマイナス、広島県（同▲19.2%）は2年連続の減少、北九州市（同+26.9%）は2年ぶりのプラス

工業生産指数の推移



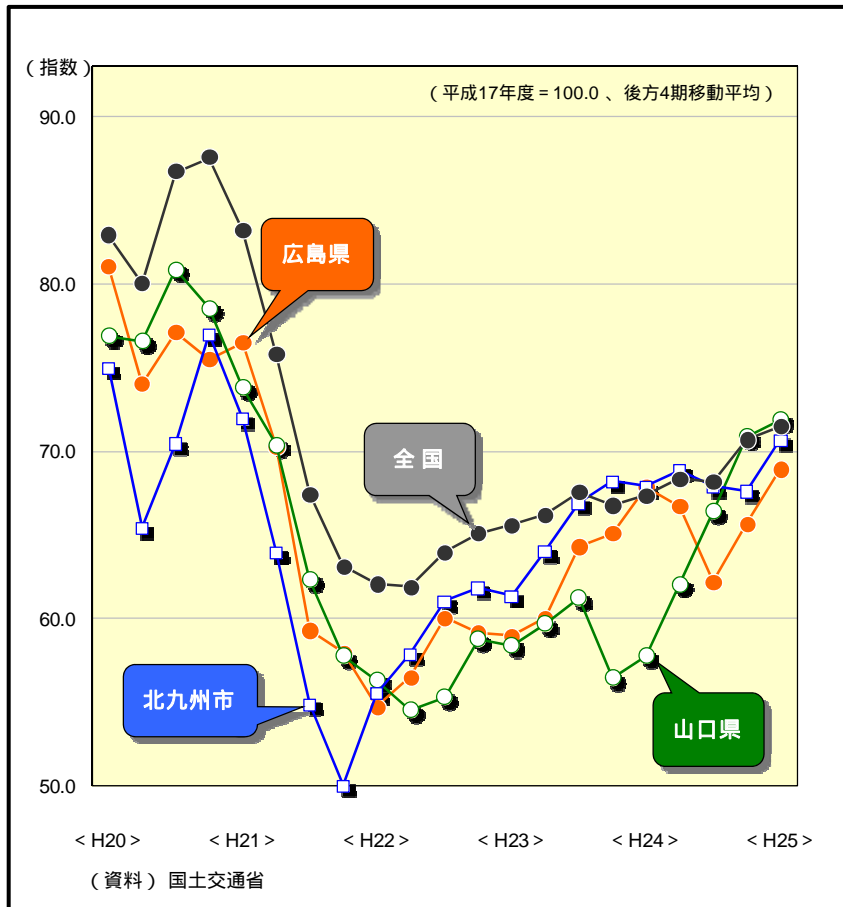
設備投資額の推移



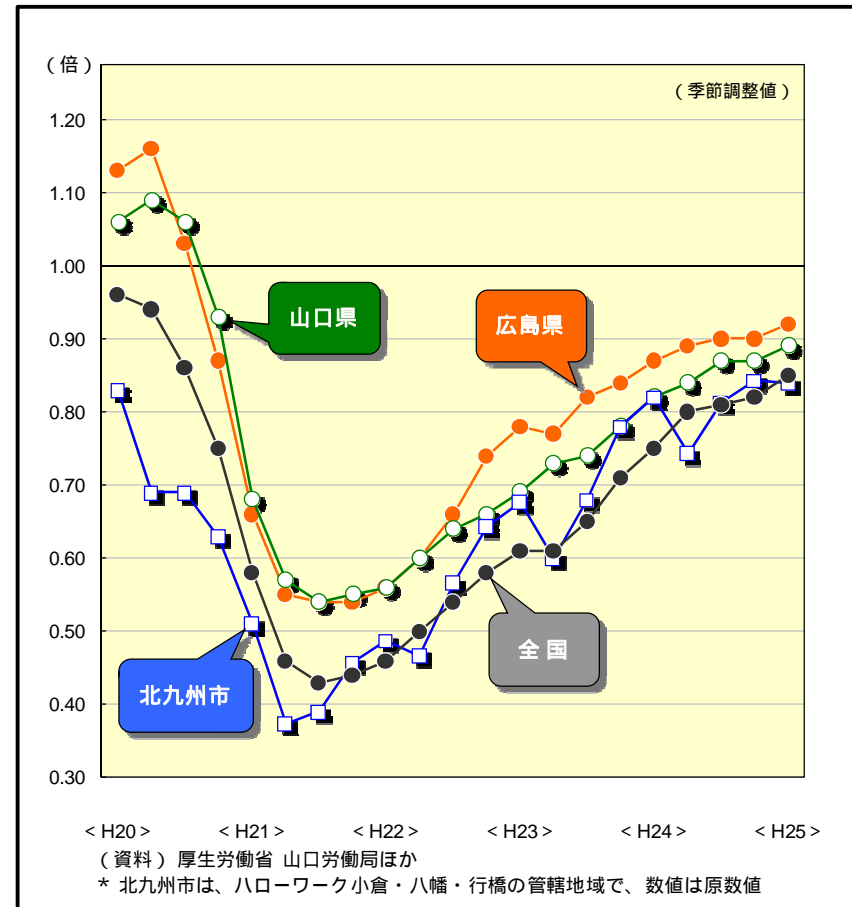
地域経済概況（住宅建築・雇用情勢）

- ◆住宅着工戸数：貸家、分譲マンションが前年を上回る水準で推移し、全体でも増加傾向
- ◆雇用情勢：有効求人倍率が緩やかに上昇し、製造業の残業時間も増加するなど、改善に向けた動き

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 柳 田

カスタマーコミュニケーション部 山 西

TEL 0 8 3 - 2 2 3 - 7 1 2 0

FAX 0 8 3 - 2 3 3 - 5 8 5 0

<http://www.ymfg.co.jp/>